

VOL.25

WEST 2024. October
TAKE FREE

MEGG

Mixture
Entertainment
Guide

Cover Artist
Special Interview

南野陽子

神戸の港を舞台に人々の営みを描く物語
舞台への想いを語ってもらった

秋はオペラに魅せられて

Special Interview

濱田芳通×中村 敬一×坂下忠弘
鈴木絵里奈×太田麻衣子×桂 春蝶
佐藤正浩×岩田達宗×黒田 博×老田裕子
山下一史
阪 哲朗×清水徹太郎×山本康寛×木下美穂子
中村錦之助×中村隼人
山田和樹×堀 朋平
飯森範親
オーギュスタン・デュメイ
濱田龍臣
佐渡 裕
森下洋子×清水哲太郎
大井剛史×酒井 格×上野耕平
森田かずよ
〈掲載順〉

南野陽子

舞台は千年続く神戸の港 今も昔も変わらぬ人々の営みの物語を

劇作家・演出家の土田英生の書き下ろし作『神戸の湊、千年の交々』。
港神戸の始まりとなった大輪田泊。この地で千年の間に起こった出来事をオムニバス形式で描いていく。
物語の軸となる夫婦を演じるのは南野陽子と大谷亮介。兵庫県出身の南野は、思い出の多い神戸に思いを馳せる。

— 土田英生さんの作品は、2022年に上演された朗
読劇「アネト」以来ですね。

土田さんとはドラマ「日曜劇場『半沢直樹』」(2020年/TBS)での共演が縁で、「アネト」も本当にいいお話でした。その時、「今度はお芝居でやりたい」とおっしゃってくださって、この「神戸の湊、千年の交々」を書いていただきました。台本を読むうちに、ページをめくるスピードがだんだん速くなっていくような、「土田マジック」がすごく面白いのですが、それだけに留まらず、見終わって数日後に作品について考える日が続くのではないかなと思います。

— “土田マジック”とは？

一言で言うと“夕焼け”です。「空が青いでしょ!」と言っていたら、いつのまにかオレンジ色になっているみたいな感じなんです。土田さんは「感謝の恩返しスペシャル企画 朗読劇『半沢直樹』」(2020年/新国立劇場)の脚本も書かれて、序盤は「このままふざけて進むのかな」と思うような展開なのですが、急に壁が崩れて視界が広がるというか、「こういう深い意味があったんだ」とか、「こないいいお話なんだ!」とハッとするような感じで。面白いんだけど、最後はちゃんといってお話に着地される場所なんです。

— 夫役の大谷亮介さんとは初共演だそうですね。

そうですね。すごく楽しみです。絶対的な安心感がありますよね。でも大谷さんはやりにくいと思う、こういうタイプの人は。

— 南野さんですか!? それはなぜでしょう。

私はすごく緊張しいのですが、セリフを忘れた時は振り絞ってでも出すというタイプではなくて、どちらかと言うと「無理!」と投げちゃう。そうやって私が真顔で立っているから、相手役の方があたふたされるんです。だから、意外

Yoko Minamino

と大谷さんもあたふたされるかもしれない(笑)。

— 土田さんの作品は、人と人がちゃんと向き合っ
て、登場人物がじっくりと対話を重ねながら関係性を
構築していきます。南野さんが人間関係を築く上で大
事にしていることは何かありますか？

今は自分のままでいいことだなと思います。合わなければ合わないでいいと思う。昔は無理して合わせたり、相手の顔をうかがったり、「自分はこうでなくてはいけない」と思っていたのですが、人と向き合うときも、とにかく自分のままでいいこと。その分、「今日はずっとお話ができなかった」と思うこともありますし、誤解されたかもしれないと落ち込んで、家に帰ってテレビを見ながら急にそのことを思い出して「あー!」と大きい声を上げてしまうこともあります。でも、私はこれから先もそんな感じで行くのだろうなと思います。お芝居もそうで、そういう後悔があるから、次こそはと思いつつ続けている気がします。

— お芝居の魅力は何ですか？

人の感情に深く入っていけることです。お芝居はお稽古で何度もセリフを繰り返すので、脚本を初めて読んだ時から感情や気づきなどがどんどん変わっていきます。自分のこともそこまで考えていないのに、なんでこんなに人のことを考えるんだろうと思うくらい深く入っていけることが、お芝居の楽しさかなと思います。

— 『神戸の湊、千年の交々』は千年という時間を
行き来する物語です。「千年」と聞いて思い出すことは何
かありますか？

『唐招提寺1200年の謎 天平を駆けぬけた男と女たち』(2009年/TBS)という時代劇で唐招提寺を作った人を演じたのですが、歴史上の人物を演じたなかでは、それが一番古いかな。あと、昔、「源氏物語」を自分で訳したいと思った時期がありました。結果を先に言えば全

然できなかったのですが、まずいろんな人の現代語訳を読もうと思って、10冊読みました。

— なぜ「源氏物語」を訳したいと？

最初は漫画の「源氏物語 あさきゆめみし」(大和和紀)を読んで面白いなと思って。あとは、昔、住んでいた家が作家の田辺聖子さんのご自宅の数軒先だったんです。田辺さんの書かれた「新源氏物語」もすごく分かりやすく



て、面白くて。同じ「源氏物語」でも作家さんによって違うから、「私だったら、どうなるかな?」と思ってやってみました。まったくお手上げでした(笑)。

— 『神戸の湊、千年の交々』に出演されるにあたって、現時
点(2024年10月)で楽しみされていることはありますか？

お稽古が兵庫であるので、私はそれだけで「やったー!」という気持ちで、ご褒美のような感じています。もう兵庫にいるというだけでうれしいです。私は東京でお仕事をしている時も、頭の中は関西弁でしゃべっているんですね。でも言葉に出すとイントネーションが東京に変わります。関西にいと、頭の中のイントネーションがそのまま出ちゃうから、より本音でいられる気がします。何も考えなくても10代の頃の私に戻れる感覚でもあります。

SPECIAL INTERVIEW

— 最後に神戸の思い出を教えてください。

父とのデートが神戸でした。その時は父と私と2人で、ドライブして、ディズニー映画を観て、パフェを食べさせてもらったりして。私はお父さんっ子だったので、「今日は私がお父さんを独り占め」みたいな感じでうれしかったです。

©Interview & Text / 岩本和子 ©Photo / 安田慎一

12/7 SATURDAY [チケット発売中]
兵庫県立芸術文化センタープロデュース
「神戸の湊、千年の交々」

■会場 / 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
■開演 / 14:00
■料金(税込) / 一般 ¥4,500 U-25 ¥2,000
■お問合せ / 兵庫県立芸術文化センターチケットオフィス TEL.0798-68-0255

秋はオペラに魅せられて

街の空気が変わり、待ちに待った“芸術の秋”が到来 観たい公演がきっと見つかるオペラ特集をお届けします。

Introduction

今回の特集に当たって、「MEG関西版 編集部」がリコメンドするオペラは5本。イタリアのフィレンツェでオペラが誕生して間もない17世紀初めに書かれたモンテヴェルディの『**オルフェオ**』から始まり、モーツァルトが活躍した18世紀を飛び越えて、ワルツ王ヨハン・シュトラウス二世のオペレッタ『**こうもり**』、イタリアオペラの巨人ジュゼッペ・ヴェルディの最後のオペラ『**ファルスタッフ**』と、19世紀の作品が2本。20世紀の作品からはオペレッタの最高峰フランツ・レハールの『**メリー・ウイドウ**』に、映画音楽の作曲家としても知られるエーリヒ・ヴォルフガング・コルンゴルトの『**死の都**』をチョイスしました。この中で『メリー・ウイドウ』だけが「ガラコンサート」というスタイル。それ以外の4本は「舞台上演版」によるオペラとオペレッタです。オペラやオペレッタとは、歌唱を中心とする舞台劇のこと。歌手の歌と振り、オーケストラ演奏、舞踊などで構成され、煌びやかな衣装や豪華な舞台装置に加え、販促用のポスターやチラシ、ホワイエで販売するパンフレットまでも、プロダクションで統一感のあるものを作り込む「総合芸術」と言えます。オペラとオペレッタの違いは、「気軽に楽しめるものがオペレッタ」くらいに考えてください。この特集記事を参考に、劇場に足を運んでみてください。オペラとの出会いが、貴方の人生をより素敵なものにしてくれますように。

©Text/ 磯島浩彰

惹きつけられる OPERA

オペラは音楽によって描き出される物語です。先に、「歌唱を中心とする舞台劇」と言いましたが、中心にあるのは歌です。その点が、演劇やストレートプレイとは違うところ。今回の「オペラ特集」のラインナップは素敵だと思いますが、一つだけ残念なのは、モーツァルトの作品が入っていないこと。モーツァルトは35年の人生の中で、あらゆるジャンルに達して多くの優れた作品を残していますが、オペラは未完のモーツァルトを含め22曲もあります。シリアスな作品から喜劇や歌芝居まで、あらゆるタイプのオペラを書いているので、どんなオペラの企画でもモーツァルトがいてくれれば大丈夫。「オペラ特集」をよりバラエティに富んだものにするために、人気の高いフィガロの結婚」を取り上げます。私が考えるオペラの魅力は、断然アンサンブル(重唱)！『フィガロの結婚』は魅力的なアンサンブルの宝庫です。まず外せないのは、第三幕の伯爵夫人のロザリンデに浮気男を訴えるのですが、「みんなシャンパンのせいなのだ」と言い争い、夫人も周囲も「ま、イイか」とばかりに「シャンパンの歌」を大合唱。これはこれでオペラっぽくてアリアだと思います。いや、オペラは楽しいですね。

©Text/ 磯島浩彰

POINT

台本作家は作曲家にとって生命線。「ファルスタッフ」はシェイクスピアの「ウィンザーの陽気な女房たち」が原作だが、これを題材にしたオペラは多い。ニコライもサリエリも人気だが、上演回数はヴェルディが勝る。



12/21 SATURDAY [チケット発売中]
ヴェルディオペラ「ファルスタッフ」
(全3幕 イタリア語上演・日本語字幕付)
■会場：神戸文化ホール大ホール 開演：14:00
■料金(税込)：S\$41,000 A\$6,000 S\$6,000
U25(25歳以下)¥1,000
■お問合せ / 神戸文化ホールチケット
TEL.078-361-3349

◆神戸市混声合唱団、神戸市室内管弦楽団 オペラ『ファルスタッフ』 佐藤正浩 & 岩田達宗 & 黒田博 & 老田裕子

神戸文化ホール開館50周年記念事業ヴェルディ「ファルスタッフ」制作発表

神戸文化ホール開館50周年記念事業として、ヴェルディのオペラ『ファルスタッフ』の上演が決まった。出演は、題名役の黒田博やエントンの小堀勇介の他、神戸市混声合唱団の現役、OGメンバーが顔を揃える。指揮の佐藤正浩、演出の岩田達宗に加え、主要キャストが揃った華やかな会見をリポートした。

神戸の芸術文化を支えて来た神戸文化ホール(1973年オープン)が、開館50周年記念事業の一環として、ヴェルディが最後に作曲したオペラ『ファルスタッフ』を上演する。8月に行われた制作発表記者会見には、指揮を務める神戸市混声合唱団音楽監督の佐藤正浩、演出家岩田達宗、題名役の黒田博をはじめとする主要キャストが顔を揃えた。神戸市には、プロのオーケストラ(神戸市室内管弦楽団)と合唱団(神戸市混声合唱団)のほか、自前のホール(神戸文化ホール)も揃っている。そんな事からも、ホール開館50周年の記念事業として、全てのコンテンツを結集し、オペラ上演を議論するのは自然な流れだ。「ヴェルディの『ファルスタッフ』を選んでの何故?」「出演する上で抱負を聞かされた」4人が疑問に答えてくれた。

■佐藤正浩(指揮) / 4年前、音楽監督に就任した時には、ヨーロッパや日本の合唱作品をレパートリーを中心に据え、世界に通用する合唱団を作るつもりでした。しかし、団員の中には関西オペラシーンのセンターを担っている者もいて、全体的にオペラに対する見識や能力が非常に高い。これなら、現役・OGメンバーを結集し、主役級の歌手を加えれば、50周年の記念事業に相応しい「神戸文化ホールオペラ」が出来るとは思いません。旧知の仲間とやるのならアンサンブルオペラが良い。折角ならあまり知られていない作品を、という事で、演出の岩田さんと相談して、ヴェルディの最後の

の作品『ファルスタッフ』を選びました。題名役には黒田博さんかいないかと思い、お願いしました。
■岩田達宗(演出) / ヴェルディのオペラは男性中心の社会の理不尽で、女性が死んだり不幸になるモノが多いのですが『ファルスタッフ』は女性が男性をギャフンと言わせて、対立を乗り越え、仲良く成るという物語です。ヴェルディが死ぬ前に書いた作品ですが、現在行われている戦争や、日常起こっている対立、いがみ合いに對して、示唆的なメッセージが込められています。僕の故郷でもある神戸の街から平和の祈いを発信出来れば素敵なお仕事ですね。
■黒田博(題名役) / 佐藤さん、岩田さんというはば同い歳のメンバーで『ファルスタッフ』をやらせて頂けることが嬉しいです。欲望のままに生きる自分勝手な人間ですが、その裏側にある悲しさや苦しきも表現出来ればと思っています。お客さまが家路に就いた時に、楽しかったの他に何かもう一つ、別の土産を持って帰って貰えるような作品にしたいです。



■老田裕子(アリーチェ役) / 生まれも育ちも神戸の私にとって、神戸文化ホールが一番身近なホールです。神戸市混声合唱団に10何年在籍していたので、今回参加させて頂けて本当に嬉しいです。神戸の街に恩返しをするつもりで臨みます。
◆本番のオペラ公演(12/21)とは別に、「解説講座(11/17)」、カヴァーキャストによる「レクチャー公演(11/3)」、「バックステージツアー(12/20)」なども企画されています。
©Interview&Text/ 磯島浩彰

◆兵庫県立芸術文化センター「オルフェオ」 濱田芳通 × 中村敬一 × 坂下忠弘

オペラ誕生の輝きを告げる傑作! 濱田芳通&アントネッロの「オルフェオ」

オペラの誕生から間もない17世紀初頭に書かれながら、今もなお聴衆の心に響くモンテヴェルディの『オルフェオ』。2025年2月、人間の愛と音楽の神への賛歌に満ちたこの物語を日本古楽界屈指の指揮者、演奏家である濱田芳通とその手兵アントネッロが上演する。濱田と演出の中村敬一、オルフェオ役の坂下忠弘にその魅力を訊いた。

— 現存する最古のオペラと言われているのがベリとカッチーニ、それぞれ「エウリディケ」が初演されています。1607年初演の「オルフェオ」はそれに次ぐもので、ごく初期のオペラと言えると思うのですが、現在、私たちが知っている最古典派以後のオペラと違う点などはあるのでしょうか。
濱田:すべての台詞が「レチターレ・カンタンド」(歌うように語る)で構成されているところが、後の時代のオペラと大きく違うところですね。これがこの時代の特徴であり、「オルフェオ」の魅力もそこにあると思います。
— オペラはもともとフィレンツェの貴族たちがギリシャ劇を再現しようとして生まれたものと聞いています。その誕生後もない「オルフェオ」やエウリディケの物語が継がれて書かれたのは理由はありますか。
濱田:やはり彼らがギリシャ神話の有名なキャラクターであることが大きいと思います。人間の愛情や音楽への畏敬のようなものを描くのにふさわしい題材だったんじゃないでしょうか。でも実際このころ、フィレンツェの人たちがどれほど忠実にギリシャ劇を再現しようとしたかについてはわかっていませんよ。
中村:17世紀初頭ですら音楽があるわけでもなく、文は文献程度でしょう。ギリシャに行くと遺跡なんかも見ながら想像して、キリスト教以前の自分たちの喜びを、そのまま表しているような芸術を



創りたいと思ってやってみたらオペラができたということでしょうか。ただ、古典を再現しようとして新しいものが生まれるというのは私たちのやり方にも似たところがあって、われわれ「チーム濱田」では、濱田さんがモンテヴェルディの楽譜から徹底的に読み取ったものの上に、対話と想像力を重ねて舞台を創るということをやっている。その結果「古典の上演を目指すだけでも、出来上がった作品は未来志向」という向きがありますね。
— アントネッロの言葉が常に新しいと言われる理由です。「オルフェオ」の声の魅力についてはいかがでしょうか。
坂下:どても華やかな声に溢れた舞台になると思います。私は一般にイメージされるバリトンよりもリリック(抒情的)な声質でオルフェオを歌います。カウンターテナーの方が多くてどこぞかしこまりますし、すべての声にとても個性的な魅力があって、ここに濱田さんの音楽のマジックがかかるとどんな舞台になるんだろうと私も今から楽しみにしているところです。
濱田:アントネッロとしては3回目の「オルフェオ」になりますが、私の中で最初に申し上げたレチターレ・カンタンドに対する解釈が毎回変化して行きます。今回は今までより、歌とリズムに溢れたレチターレ・カンタンドで「オルフェオ」の物語をお届けしたいと思っています。
©Interview&Text/ 遠坂聖也 ©Photo/ ヒダキヒロ

POINT

兵庫県立芸術文化センターの開館20周年記念公演として上演するパロック・オペラ。古楽の世界に新風を吹き込んだ濱田芳通&アントネッロが、オペラ黎明期の傑作「オルフェオ」を躍動感たっぷり上演します!



25/15 SATURDAY・16 SUNDAY [チケット発売中]
パロック・オペラ エピソード2025 濱田芳通&アントネッロの「オルフェオ」
■会場：兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
■開演：14:00
■料金(税込)：A¥12,000 B¥8,000 C¥5,000
■お問合せ：芸術文化センターチケットオフィス TEL.0796-68-0255

◆大阪交響楽団×堺シティオペラ×フェニーチェ堺《テアトロ・トリニタリオ》 「新春を寿ぐ〜メリー・ウイドウの世界で巻き起こるオペラガラコンサート」

山下一史

堺市を拠点に活動する大阪交響楽団と堺シティオペラが、フェニーチェ堺を舞台に「オール響」を印象付ける取り組み「Teatro Trinitario」(テアトロ・トリニタリオ/三位一体劇場)の第4回公演は、「新春を寿ぐ〜メリー・ウイドウの世界で巻き起こるオペラガラコンサート」(2025年1月5日)に決まった。指揮をする大阪交響楽団の常任指揮者 山下一史に話を聞いた。

— 「テアトロ・トリニタリオ」は、4回にして初めて山下さんの登場です。
濱(僕の番が回って来ました(笑)。フェニーチェ堺が出来たのは2019年10月。翌年から堺の文化力を全国に発信する取り組みとして行われてきたのが「テアトロ・トリニタリオ」です。2020年に行われた1回目は、歌劇「カルメン」を中心としたガラコンサート、そして2回目は歌劇「トゥランドット」で、この2回をミュージック・パートナーの柴田真都さんが指揮。3回目の喜歌劇「こうもり」を首席客演指揮者の高橋直史さんが指揮されました。今回、僕が指揮をするのは、喜歌劇「メリー・ウイドウ」の世界観の中で繰り広げられるガラコンサート。「ウィリアムの歌」や「誓は燃して」はもともと演奏しますが、せっかく新年早々、豪華な歌手が集結するので、「メリー・ウイドウ」を上演するだけでなく、色々なオペラの名曲アリアや重唱の数々をお届けする方がお客さまは楽しいのではないかと思います。ニューイヤーと言えど連想するオーケストラの曲にもご期待ください。
— ストリー的にも音楽的にも「メリー・ウイドウ」を堪能したいと言えないものになっていて、それにプラスして、他のオペラの名曲なども楽しめるガラコンサートという事で、良いですか?
濱:そうですね。関西だけでなく東京からも素晴らしい歌手を招くので、「メリー・ウイドウ」の役に翻り振ると歌と曲が見られるので、こういう形になりました。注目は構成・演出をされる森川太郎さん。ウィーン国立音楽大学で歌や演出を学び、世界的なジャグリング



POINT

ガラコンサートは、何かを記念して行われる特別な演奏会のこと。ソリストやオーケストラが、オペラやオペレッタのアリアや序曲を中心に組み立て、その時間限りのスペシャルなプログラムを届けられる。



25/15 SUNDAY [チケット発売中]
Teatro Trinitario 2025 「新春を寿ぐ」
「メリー・ウイドウの世界で巻き起こるオペラ・ガラコンサート」
■会場：フェニーチェ堺 大ホール 開演：14:00
■料金(税込)：S\$41,000 A\$6,000 A\$3,000
■お問合せ：大阪交響楽団チケットセンター TEL.072-228-5522(平日10:00~17:00)
©出演者情報等詳細はP10をご覧ください

POINT

オペラには格付けが存在する。セリフで運ぶオペレッタはオペラより下に見られ、由緒正しい国立オペラ劇場では上演禁止。初めて国立歌劇場(宮廷歌劇場の後継劇場)で上演されたのが19世紀の終わり、「こうもり」だった。この風習は今なお残っている。

◆関西二期会 喜歌劇『こうもり』 鈴木恵里奈 & 太田麻衣子 & 桂春蝶

3幕ものの「こうもり」が2部制オペラに大変身! ワルツ王の調べに乗せて、こうもり博士の復讐や如何に

関西二期会が創設60周年を記念して上演するのは、オペレッタの最高峰、J.シュトラウス二世作曲「こうもり」だ。「全てはシャンパンのせい」と退屈な日常を笑い飛ばしたい。

ストーリーは単純だ。主人公のアイゼンシュタインは、数回刑の禁閉刑で留置所に収監される前夜、友人の「こうもり博士」とファルケ博士に誘われて、妻ロザリンデに内緒で、オルフスキーク公爵の仮装パーティーに参加する。そこで仮面姿の夫人を妻と見かたずき口説くのだが、逆に証拠の時計を巻き上げられる始末。翌朝、刑務所に出現したアイゼンシュタインは、自分の代わりに収監されているアルフレードと妻の浮気を確信し、不貞をなした妻は、妻の時計を取り出し反撃。そこにファルケが昨夜の客と共に現れ、「すべては自分の仕組んだこと。3年前の「こうもり事件」の復讐だ」と告げる。アイゼンシュタインは妻に謝罪するも、「全てはシャンパンのせい」と聞き直り、妻もその場を全員が笑いながら「シャンパンの歌」を歌って大団円。細かな矛盾点には目をつぶり、勢いでめでた過ぎて突き抜けるオペレッタならではの展開が「こうもり」の魅力。モーツァルト「フィガロの結婚」のラスト、伯爵が妻へ夢を乞うシーンでは、天国的な音楽をバックに、伯爵夫人が涙を浮かべて「赦しなさい」と言うのは大得意なのだ。今回の「こうもり」を指揮する鈴木恵里奈、演出の太田麻衣子、刑務所の看守フロッツェの落着きな声に、桂春蝶に話を聞いた。

■鈴木恵里奈 / ストリーはいつの時代にも変わらない普遍的な人間ドラマ。オペレッタですので、観にくく考えず、お客さまがスガッとした気分でお帰りのように、テンポよく進めていきたいです。オスミスは疾走感溢れる「序曲」と、第1幕のアイゼンシュタイン、ロザリンデ、



目演出です。創設60周年記念の大作を演出できて光栄です。ほんのひと時でも「すべてはシャンパンのせい」と笑って頂ければ嬉しいです。劇場でお会いしましょう。
■桂春蝶 / 歌えない踊れない演劇家の私に出演依頼とは、何かの間違いだと思ったのですが、語りだけの役があるそうです。桂ごは師匠や桂木園師匠も演じられた役だとお聞きし、少し気楽になってお引き受け致しました。関西二期会さんは創設60周年だそうです。私はデビューから30周年です。自分だけのフロッツェをお見せできるように頑張りますので、客席からの声援をお願いします。
©Interview&Text/ 磯島浩彰



**11/30 SATURDAY
12/1 SUNDAY** [チケット発売中]
第96回オペラ公演
関西二期会創設60周年記念公演
喜歌劇「こうもり」
■会場：メトロポリタン 神戸市文化会館大ホール
■開演：11/30(土)15:00 12/1(日)14:00
■料金(税込)：全席指定 特519,000 SV10,000
A\$6,000 B\$2,000 C\$3,000
■お問合せ：関西二期会 TEL.06-6360-4649

POINT

モーツァルトの再来と騒がれたコルンゴルトは、「死の都」の大成功の後、不遇の時代が長かった作曲家だ。近年、再評価され、ワイオリニストとして彼の協奏曲は大初演レパートリーとなっている。

◆びわ湖ホールプロデュースオペラ コルンゴルト『死の都』 阪哲朗 & 清水徹太郎 & 山本康寛 & 木下美穂子

指揮者、キャスト全員が難曲だが超名曲! と口を揃える「死の都」、待望の再演決定

びわ湖ホール第3代芸術監督 阪哲朗のプロデュースオペラ第二弾は、コルンゴルトのオペラ『死の都』。悲哀に満ちた過去と決別し、命の再生を願う。喪失感の克服をテーマに、甘美な名曲に包まれる至福のひと時をぜひびわ湖ホールで。

びわ湖ホールが年に1度、総力を挙げて制作する「プロデュースオペラ」は、オペラファンを熱狂させて来た。初代芸術監督 若杉弘は、ヴェルディの日本初演モノを並べた「ヴェルディ・シリーズ」で人気を博し、第2代芸術監督 沼尻竜典は、ワーグナーの主要オペラ10作品を同じ会場で上演する「ワーグナー10」を2023年3月、ドイツ『ニルンベルクのマイスタージンガー』で達成。日本では沼尻竜典だけが成し得た大記録だ。独自のカラーを鮮明に打ち出して来た歴代芸術監督の「プロデュースオペラ」だが、昨年4月に第3代芸術監督に就任した阪哲朗は、ウィーンを自身の原点として活動して来た指揮者らしく、リヒャルト・シュトラウスの「ぼらの騎士」で華やかなデビューを飾った。そして迎える第2弾では、コルンゴルトの『死の都』を取り上げる。「制作発表会見」には、芸術監督の阪哲朗、ダブルキャストで主役のワルツ役を務める清水徹太郎(3/1)、山本康寛(3/2)、同じくダブルキャストでマリィ/マリッタ役を務める木下美穂子(3/2)が出席した。



2年目に『死の都』と、プロデュースオペラの演出目録に決まりました。このオペラ、音数が多く複雑でも複雑で、歌手は技術的にも体力的にもキツイと思います。ドイツでは満足いくのではなかっただけに、今回はもう少し振り下げたと思います。主人公のバルは死にねむりながらも、最終的には希望に向かって再生します。皆さんが劇場を出る時には、生きている喜びを感じて頂けるような作品になればと願っています。演出は、栗山の下で演出補を務めた岩田達宗が務める。清水徹太郎は「音の数と出番の多さ」に驚き、自分出来るの幅が広がりました。阪：アマエスタロが「できるだけフローする」で頑張ってくださいというので、引き受けることにしましたと話し、山本康寛は「前回の公演では、代役でバルの歌を歌いました。本来は力強いドラマチックな「ヘルデンテイル」の役だと思っていますが、バリエーションに選ばれる音楽性に気が付き「もう一度歌いたい」と出演を決めました」と話した。木下美穂子は「楽譜を見て愕然。これまで一番の難曲です。お世話になった栗山先生が大好きだったこの作品を取敢えることを、嬉しく思います」と力を込めた。びわ湖ホールが誇る最高水準の舞台機構を丸に活かして行けるホール所属の『死の都』。これを聴き逃す訳にはいかない。
©Interview&Text/ 磯島浩彰



25/3/1 SATURDAY・2 SUNDAY [チケット発売中]
びわ湖ホールプロデュースオペラ コルンゴルト作曲 歌劇「死の都」
(全3幕 ドイツ語上演・日本語字幕付)
■会場：びわ湖ホール 大ホール 開演：14:00
■料金(税込)：S\$25,300 S\$20,900 A¥18,700
B¥15,400 C¥12,100 D¥8,960(座席) E¥5,960(座席)
U30(30歳以下)¥3,300 U24(24歳以下)¥2,200
■お問合せ / びわ湖ホールチケットセンター TEL.077-523-7136
(10:00~19:00) 休日の場合は毎日

読売テレビ

https://www.ytv.co.jp/event/



10/26 SATURDAY ~12/1 SUNDAY リアル脱出ゲーム×名探偵コナン 「100万ドルの絡線館からの脱出」

チケット発売中

幻の宝石「闇夜の輝き」が隠れているという絡線館(からくりやかた)に怪盗キッドからの予告状が届いた。あなたは屋敷を警備する警官の一人として、コナン、平次とともにキッドの手からお宝を守るため、暗号を解読し「闇夜の輝き」の真実に迫る。物語の登場人物の一人となって実際にコナン達と一緒に情報を集め、推理して、事件の真相を解き明かすことができるか!? 劇場版「名探偵コナン 100万ドルの五稜星(みちる星)」の後日譚となるオリジナルストーリーを体感しよう!

■会場 読売テレビ 10hall ■時間 詳しくは公式HPをご確認ください
 ■料金(税込) 前売 一般¥3,500 コールチケット¥19,200
 [任務付きチケット] 任務付きチケットにはイベント中に楽しめる特別任務に加え、自宅で楽しめる謎やオリジナルグッズがくくられている!

■チケット取扱い/下記①②
 ■お問合せ/株式会社SCRAP TEL.03-5341-4570(11:00~19:00) ※未就学児入場不可



11/30 SATURDAY 12/1 SUNDAY 舞台「MONSTER」

チケット発売中

○出演 風間俊介、松岡大、笠松はる、那須佐代子 ○作/ダンカン・マクミラン ○脚訳/高田雄二 ○演出・美術/杉原邦生 ○音楽/原口沙穂

ダンカン・マクミランがタブーに挑んだ衝撃作が待望の日本初上陸! 教育現場で新たな人生を歩み出したトム(風間俊介)の目の前にいるのは、14歳の少年ダリル(松岡大)。何も恐れない、壊れてしまった少年に、大人は何ができるのか— 二人きりの教室で少年と向き合い続けるトム。歴史は変えられなくても、より良い未来を作ることにはできるかもしれない。ひたすらそれを信じて。これから生まれてくる自分自身の“小さなMONSTER”のためのより良い未来を。

■会場 松下IMPホール ■開演 11月30日(土)13:00、17:30 [アフタートーク有り] 12月1日(日)13:00
 ■料金(税込) 全席指定 ¥10,500 ■チケット取扱い/下記①②③④⑤
 ■Pコード/528-215 ■Lコード/55444
 ■お問合せ/キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888(11:00~18:00 日祝休のみ) ※未就学児入場不可



10/25 FRIDAY ~12/8 SUNDAY 本丸御殿公開記念 NAKED meets 二条城 2024 秋の豊穣祭

チケット発売中

「秋の豊穣祭」をテーマに、クリエイティブカンパニー NAKED, INC.が来場者を「おもてなし」する新イベントを開催いたします。日本の秋の恵みを、テイクアウト、香り、食、音など様々な要素を組み合わせ、体験型アートで表現。二条城にまつわる様々な食を食しながら、彩られた夜の二条城を巡る体験型アート展です。鑑賞のみのチケットもご用意していますので、飲食抜きでも楽しめます。本丸御殿の障壁面に描かれた秋の草花のプロジェクト「モンペピンダツ」の演出によって、より華やかにライトアップされた本丸御殿と本丸庭園で、プレミアムな夜のひと時をお楽しみいただけます。

■会場 京都・元宮西二条城 ■時間 18:00~22:00(最終入場21:00)
 ■料金(税込) [月~木]中学生以上¥2,000(早割¥1,600) 小学生¥1,200(早割¥1,000) [金~日・祝]中学生以上¥2,400(早割¥2,000) 小学生¥1,600(早割¥1,400) ※早割チケットは、9月18日(水)10:00~10月24日(木)23:59の販売
 ■チケット取扱い/下記①②③④⑤⑥⑦⑧ ■Pコード/995-080 ■Lコード/54155
 ■お問合せ/キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888(11:00~18:00 日祝休のみ) ※受付日時:2024年9月18日(水)~12月7日(土) ※未就学児無料 ※ベビーカー同伴不可 ※場内には別途有料コンテンツがございます



10/12 SATURDAY ~12/8 SUNDAY 石村嘉成展 ~いのちの色たち~

チケット発売中

独特の色彩で、来る日も来る日も、いきものだけを描き続ける愛媛県新居浜市在住の若手アーティスト石村嘉成。じゃれあうインドウの親子、住処を奪われたハンビロコウ、春を待つ深紅のツバキ。どんな状況下のいのちも石村嘉成が描くと、とたんに生命力にあふれ、温かみ、岡山・愛媛で約8万人を動員した石村嘉成が、満を持して、関西に上陸。全長26メートル、生物の進化を描いた圧巻の代表作「Animal History」はもちろんのこと、色彩に埋もれる没入空間、神戸展のために描きおろした異色の新作など200点を超える作品を展示。「いのちの色」を感じる美術展となっています。一番好きな作品は、いつも、「次の作品」といって石村嘉成。つねに、あなたへ進む石村嘉成の世界へぜひお越しください。

■会場 兵庫県立美術館 ギャラリー棟3階ギャラリー ■時間 10:00~18:00(最終入場時間17:30)
 ■料金(税込) 一般・大学生¥1,500 中高生¥1,000 小学生¥800
 ■チケット取扱い/下記①②③④⑤ ■お問合せ/キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888(11:00~18:00 日祝休のみ)



MANY DAYS 一条工務店 presents 恐竜ラポ! キング・オブ・ハンターズ from DINO-A-LIVE

10/26(土)~チケット発売

肉食恐竜の大スターたちが集結! 最強の肉食恐竜「ティラノサウルス」、ジュラ紀の支配者「アロサウルス」、頭脳明晰な戦略家「ユタパトル」、水辺の巨大竜「スコミス」! 恐竜たちを間近で観察しながら、最新の学説に基づき徹底解説。キミも知らなかった恐竜たちの秘密に出会おう!

◎枚方公演 25/15(日) ◎岸和田公演 25/11(土)
 ◎明石公演 25/11(土) ◎奈良公演 25/21(土)

■会場 [枚方公演]枚方市総合文化芸術センター 関西医大 大ホール [岸和田公演]南海浪切ホール 大ホール [明石公演]明石市立市民会館 大ホール [奈良公演]191100年堂 大ホール

■開演 各日10:30、13:30、16:30
 ■料金(税込) 全席指定 SY4,900 AV3,400 ダイナミックシート(オリジナル特典プレゼント)¥7,300
 ■チケット取扱い/下記①②③④⑤⑥⑦
 ■Pコード/654-271 ■Lコード/52364
 ■お問合せ/キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888(11:00~18:00 日祝休のみ) ※3歳以上有料、2歳以下は路上鑑賞無料、但し、お席が必要な場合は有料



12/7 SATURDAY 12/8 SUNDAY ミュージカル「SONG WRITERS」

11/10(日)~チケット発売

○出演 屋良朝幸、中川英歌、実咲遥音、相葉裕樹、青野紗穂、蒼木陣、東島京、コング島田、武田真治 ○作・作詞・音楽・プロデュース/森雪之丞 ○演出/岸谷五朗 森雪之丞と岸谷五朗による本格派オリジナルミュージカル「SONG WRITERS」が約10年の時を経て待望の復活公演!

自信過剰な作詞家エディ・レイク役の屋良朝幸と、気弱な作曲家ピーター・フォックス役の中川英歌、お調子者の音楽ディレクターのニック・クロフォード役の武田真治、マフィアのボスのカルロ・ガンビーノ役を愛嬌たっぷりにはじめるコング島田ら、初演オリジナルメンバーに加え、実咲遥音、相葉裕樹、青野紗穂、蒼木陣、東島京を新キャストを迎え、12月に大阪、愛知でのツアー公演を予定しております。

■会場 森/宮ピロリホール ■開演 12月7日(土)12:00、17:00 12月8日(日)12:00
 ■料金(税込) 全席指定 ¥13,500 ■チケット取扱い/下記①②③④⑤
 ■Pコード/527-515 ■Lコード/53857
 ■お問合せ/キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888(11:00~18:00 日祝休のみ) ※未就学児入場不可



9/14 SATURDAY ~12/8 SUNDAY 西塔釈迦堂 秘仏本尊釈迦如来像特別ご開帳・内陣特別公開

チケット発売中

釈迦堂ご本尊秘仏 釈迦如来像の特別開帳、内陣特別拝観に加え、村松亮太郎による参加型アート「DANDELION PROJECT」の特別展示を行います。参加者がアートオブジェ「DANDELION」の前に立ち、オブジェの綿毛を吹くと、平和の祈りを乗せたタンポポの綿毛がプロジェクションマッピングで壁一面に広がり、床面に広がるろうそくの灯りが、釈迦堂内を柔らかに照らします。延暦寺最古の建築物を舞台に最新のデジタルアート技術を融合させ、新たな仏の世界を創り出し、体感いただけます。

■会場 比叡山延暦寺 西塔 釈迦堂(転法輪堂) ■時間 9:30~15:30
 ■料金(税込) 内陣特別拝観料¥800 ※別途、延暦寺諸堂巡拝料が必要です ■チケット取扱い/下記①②③④⑤⑥⑦⑧
 ■Pコード/994-972 ■Lコード/51442 ■お問合せ 比叡山延暦寺 TEL.077-578-0001 ※未就学児無料 ※混雑状況により、入場制限を行う場合がございます ※場内での撮影は一部を除き禁止させていただきます



11/23 SATURDAY HOLIDAY 万博花火プロジェクト 『万博夜空がアートになる日』2024

チケット発売中

一万博夜空がアートになる日の魅力 15,000発による関西最大級の感動花火! 日本屈指の至近距離で圧倒! 花火は音楽と1/100秒でプログラムして夜空をペイント。

◎音楽と花火を1/100秒単位で夜空をデザイン
 ◎15,000発を打ち上げる圧迫的花火
 ◎至近距離から観る臨場感
 ◎関西の花火師が技を競う席巻を包み込む 照明演出で没入感
 ◎花火の音に負けない音響システム
 ◎星のコンテンツも充実
 ◎アクセス抜群でスムーズな入退場

■会場 万博記念公園 東の広場 ■開演 18:30(開場12:00)
 ■料金(税込) [通常価格] VIPシート¥55,000 VIPカマランチ¥45,000 最前列シート¥33,000
 ダイナミックシート¥10,500 パノラマシート¥8,000(子供¥4,000) ダイナミックメラマシート¥16,500 車イス席¥21,000
 ■チケット取扱い/下記①② ■お問合せ/公式ホームページ https://www.banpakuhanabi.jp/contact/ ※乳幼児鑑賞観可 ※子ども料金(3歳以上、小学生以下) ※チケット代には、自然文化園入園料が含まれています



住友生命いずみホール

TEL.06-6944-1188 住友生命いずみホール 住友生命いずみホール



メンデルスゾーン 光のほうに

企画・監修: 堀 朋平、山田和樹

この冬、住友生命いずみホールでは、ドイツ・ロマン派音楽を代表するフェーリクス・メンデルスゾーン・バルトルディ(1809~47)に焦点をあて、交響曲や協奏曲、オラトリオに取り組みます。

この一大企画には、2022年の「シュペルバト交響曲全曲演奏会」で高い評価を得た出演者が再び集結。ホールの音楽アドバイザーである堀朋平と聴衆の心を掴んで離さない指揮者・山田和樹が、前回に続いて企画・監修を務め、大阪の4つのオーケストラとともにメンデルスゾーンの作品に光を当てます。今回はさらに、東京混声合唱団や、日本を代表する歌手、そして周防亮介、小林愛実がマエストロの指名にこたえて登場します。各日、堀と山田によるプレトークも予定しており、選曲や舞台裏についてお話いたします。

この冬、住友生命いずみホールでしか聴くことができない本シリーズに、どうぞご注目ください。



〈関連イベント〉
 ◎11/6(水)19:00 レクチャー&コンサート「邂逅—めぐりあう“時”」[発売中]
 ◎25/1/21(火)18:25 「青少年のためのリハーサル見学会」[要事前申込]
 ■会場 住友生命いずみホール ■料金(税込)/4公演セット券+11月6日(水)レクチャー&コンサートご招待券¥24,000 ※セット券は下記①のみ取扱い ※詳しくは住友生命いずみホールのホームページをご覧ください。www.izumihall.jp
 ◎共催 大阪交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、東京混声合唱団、日本センチュリー交響楽団

25/1/26 SUNDAY Vol.3 「救済—世を照らす祈り」 日本センチュリー交響楽団

チケット発売中

○出演 山田和樹(指揮)、エリヤ小森輝彦(Viola)、田崎高美(Soprano)、清水華澄(Alt)、城 宏憲(Tenor)、富田一樹(Bass)、東京混声合唱団 ○曲目 メンデルスゾーン・オラトリオ「エリヤ」 ※宇幕付き

〈溢れる才能、深まる思想—晩年のメンデルスゾーンが到達した最高傑作〉
 本シリーズの柱となる作品がVol.3で登場します。メンデルスゾーンが10年のあいだ温めて人生の最後に完成したオラトリオ「エリヤ」。この作品に、なみなみならぬ思い入れを持つ山田マエストロが、信頼を寄せる歌手、合唱団、楽団とともに作り上げる「祈り」のオラトリオを宇幕付きでお贈りいたします。

■会場 住友生命いずみホール ■開演 16:00 ■料金(税込)/全席指定 一般¥7,500 U-30V3,000
 ■チケット取扱い/下記①②③④ ■Pコード/274-183 ■Lコード/56508 ※未就学児入場不可



11/6 WEDNESDAY メンデルスゾーン—光のほうに(特別企画) レクチャー&コンサート 邂逅—めぐりあう“時”

チケット発売中

○出演 ロータス・カサテ、堀 朋平(指揮) ○曲目 シューベルト・弦楽四重奏曲(四重奏新巻)、フェリス・メンデルスゾーン・弦楽四重奏曲 第6番 ほか

メンデルスゾーン—光のほうに(特別企画) レクチャー&コンサート 邂逅—めぐりあう“時”

2025年1月から始まる「メンデルスゾーン—光のほうに」により深く知れるレクチャー&コンサートを開催いたします。シュペルバトや姉ファニーの作品を組み合わせたプログラムをロータス・カサテが演奏、レクチャーを受けてお届けいたします。 ※「メンデルスゾーン—光のほうに」4公演セット券ご購入の方は、当レクチャー&コンサートにご招待いたします。

■会場 住友生命いずみホール ■開演 14:00
 ■料金(税込)/全席指定 一般¥1,500 U-30V2,000
 ■チケット取扱い/下記①②③④ ■Pコード/269-758
 ■Lコード/56381 ※未就学児入場不可



25/1/22 WEDNESDAY Vol.1 「燦々—祝典、そして南へ」 大阪交響楽団

チケット発売中

○出演 山田和樹(指揮) ○曲目 メンデルスゾーン「真夏の夜の夢」序曲、交響曲 第5番(宗教改革)、交響曲 第4番(イタリア)ほか

〈陽光降り注ぐイタリアの祝祭〉
 メンデルスゾーンが20歳の時に訪れた陽光降りそそぐ南国、イタリア。Vol.1は太陽の国を音にしたシンフォニーがメインです。そして、彼が残した華やかな序曲を組み合わせ、関西の音楽界にあざやかな“光”を灯します。真冬にあって真夏の夜の祭りを再現いたします。

■会場 住友生命いずみホール ■開演 19:00 ■料金(税込)/全席指定 一般¥6,000 U-30V3,000
 ■チケット取扱い/下記①②③④ ■Pコード/274-181 ■Lコード/56477 ※未就学児入場不可



25/1/25 SATURDAY Vol.2 「光輝—見いだされた耀き」 関西フィルハーモニー管弦楽団

チケット発売中

○出演 山田和樹(指揮)、周防亮介(Viola/Organ)、森 麻季(Soprano)、宮里直樹(Tenor)、桑山彩子(Bass/Organ)、東京混声合唱団ほか ○曲目 メンデルスゾーン・ヴァイオリン協奏曲 水短調、交響曲 第2番(讃歌) ※宇幕付き

〈端々しい旋律と、“闇と光”を描く交響的カンタータ〉
 Vol.2では、音の力と誠実さで人気をほこるヴァイオリニスト周防亮介をソリストに迎え、「メンコン」の愛称で親しまれる協奏曲をお贈りします。後半は(第九)を想起させる、独唱と合唱の付いた交響曲 第2番「讃歌」を組み合わせて。ソプラノの森麻季、テノールの宮里直樹、東京混声合唱団と、この輝かしい交響カンタータを響かせます。

■会場 住友生命いずみホール ■開演 16:00 ■料金(税込)/全席指定 一般¥7,500 U-30V3,000
 ■チケット取扱い/下記①②③④ ■Pコード/274-182 ■Lコード/56487 ※未就学児入場不可



25/1/29 WEDNESDAY Vol.4 「波濤—荒ぶる天才、北へ」 大阪フィルハーモニー交響楽団

チケット発売中

○出演 山田和樹(指揮)、小林愛実(Bass)、山田和樹(指揮)、小林愛実(Bass)、山田和樹(指揮)、小林愛実(Bass)ほか ○曲目 メンデルスゾーン・劇付随音楽(アンティコネ)序曲、交響曲 第1番 水短調、ピアノ協奏曲 第2番 二短調、交響曲 第3番(スコットランド)

〈時を超えたプログラムにこめられた、天才の荒々しいエネルギー〉
 荒々しい短調の曲をあつめた最終夜。後年のメンデルスゾーンが手がけた悲劇の劇付随音楽に続き、15歳の時に書いた交響曲 第1番をお聴きいただけます。そして情熱的なピアニスト・小林愛実をソリストに迎え、二短調のコンチェルトと(スコットランド交響曲)をお贈りします。作曲家のエネルギーを感じていただく一夜です。

■会場 住友生命いずみホール ■開演 19:00 ■料金(税込)/全席指定 一般¥7,000 U-30V3,000
 ■チケット取扱い/下記①②③④ ■Pコード/274-184 ■Lコード/56524 ※未就学児入場不可



兵庫県立芸術文化センター

TEL.0798-68-0255 <https://www.gcenter-hyogo.jp>



11/23 SATURDAY HOLIDAY 富士電機スーパーコンサート サイモン・ラトル指揮 バイエルン放送交響楽団

チケット発売中

◎曲目 / パートヴィスル・サイモンへの贈り物2018、マラー「交響曲 第7番「夜」の歌」

「ラトルが先!」それだけで人々の心を昂らせる世界的指揮者、サー・サイモン・ラトル。英国出身、ドイツを拠点にベルリン・フィルの首席指揮者を長く務めるなど一流楽団を率いてきた名匠が、世界屈指の名門バイエルン放送交響楽団の首席指揮者に就任し、待望の来演を果たします。今回演奏するマラーの「夜の歌」の俗称をもつ演奏時間約80分の大曲。最高の指揮者、最高のオーケストラ、最高の傑作音楽を!

■会場 / 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール ■開演 / 14:00
■料金(税込) / 全席指定 A¥28,000 B¥24,000 C¥20,000 D¥16,000 E¥12,000 F¥8,000
■チケット取扱い / 下記①②③④ ※未就学児入場不可

11/22 FRIDAY 世界音楽図鑑 ケルティック・コーラス アヌーナ

チケット発売中

神秘的な国アイランドの国民的コーラス・グループが中世の響きをよみがえらせる! 男女混声による透明度の高いハーモニーは、まるで天上から聴こえてくるかのよう...! 高い歌唱力と秀逸なアレンジで織りなす、世界中で大人気のパフォーマンスを全身で浴びて、明日のエネルギーをチャージしませんか?

■会場 / 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール ■開演 / 18:30
■料金(税込) / 全席指定 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000 D¥1,000
■チケット取扱い / 下記①②③④ ※未就学児入場不可

11/24 SUNDAY プロムナード・コンサート 郷古 廉&ホセ・ガヤルド デュオ・リサイタル

チケット発売中

◎ヴァイオリン / 郷古 廉 ○ピアノ / ホセ・ガヤルド ◎曲目 / ラヴェル「ツィガリス、フランク「ヴァイオリンソナタ」ほか

NHK交響楽団のコンサートマスターを務めるなど日本を代表するヴァイオリニストとして活躍する郷古 廉。そしてチェリビタックをはじめ数多くの巨匠から薫陶を受けたピアニスト、ホセ・ガヤルド。二人の煌めく才能でヴァイオリン×ピアノの名曲ばかりをたっぷり。華麗なデュオの世界をお楽しみください。

■会場 / フェニーチェ堺 大ホール ■開演 / 15:00
■料金(税込) / S¥60,000 A¥5,000 B¥4,000
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥
■Pコード / 272-798
■Lコード / 52693
■Lコード / 52693
※未就学児入場不可
※やむを得ない事情により出演者が変更となる場合があります

フェニーチェ堺

TEL.072-223-1000 <https://www.fenice-sacay.jp/>



12/8 SUNDAY 鼓童 十二月特別公演 2024 「山踏み」

チケット発売中

◎出演 / 太鼓芸能集団 鼓童、チェ・ジェヨル(崔在哲) ◎演出 / 住吉佑太 ◎製作 / 北前船

踏み鳴らす、大地の鼓動。
2024年にお届けする鼓童の最新作は、韓国太鼓(チャンゴ)演奏家のチェ・ジェヨル(崔在哲)氏をゲストに迎えた特別共演作品。「身体性、音楽性、精神性」この三本の柱を足元から見つめ、新しくも奥深い、そして鼓童らしさを兼ね備えた舞台をお楽しみください。

■会場 / フェニーチェ堺 大ホール ■開演 / 15:00
■料金(税込) / S¥60,000 A¥5,000 B¥4,000
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥
■Pコード / 272-798
■Lコード / 52693
※未就学児入場不可
※やむを得ない事情により出演者が変更となる場合があります

12/10 TUESDAY フィルハーモニー・オーボエ・カルテット with 佐渡裕(ナレーター)

チケット発売中

◎出演 / フィルハーモニー・オーボエ・カルテット、佐渡裕(ナレーター) ◎曲目 / W.A.モーツァルト「オーボエ四重奏曲 へ長調 K.370、J.ブラーム「オーボエ四重奏曲、W.A.モーツァルト「オーボエ」(魔笛)よりK.620(ロシナック編曲)

ベルリン・フィルのメンバーを中心に、指揮者の佐渡裕が「世界的名手達」と呼ぶ屈指のカルテットが、古今のオーボエ&弦楽の傑作選をお届けします。後半にはその佐渡裕がナレーション役でステージに登場!モーツァルト作曲オペラ「魔笛」のハイライトに乗せて、その魅力をたっぷりと掘り下げます。演奏機会があまりないロシナック編曲の「魔笛」は必聴です! ※佐渡裕は指揮いたしません。

■会場 / フェニーチェ堺 大ホール ■開演 / 19:00
■料金(税込) / 全席指定 S¥6,500 SV5,800 A¥4,800 B¥3,800
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥
■Pコード / 272-343 ■Lコード / 52710
※未就学児入場不可
※やむを得ない事情により出演者が変更となる場合があります

11/29 FRIDAY スペイン 国立バレエ団

チケット発売中

◎演目 / (ヘネラシオン(ジェネレーション) GENERACIONES)「ロトモ」(「ボレロ」)「グリード」ほか

「ボレロ」をフランク・マサドによってスペイン舞踊の最高峰として世界を魅了する本バレエ団。伝統的な民族舞踊から現代のフラメンコまでの幅広いレパートリーを、精緻ダンサーたちが踊ります。まさしく「スペインの情熱」とい言葉が体現するような2時間のプログラム。心が震える、最高峰のステージをご堪能ください。

■会場 / 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール ■開演 / 14:00
■料金(税込) / 全席指定 A¥15,000 B¥12,000 C¥9,000 D¥7,000 E¥5,000
■チケット取扱い / 下記①②③④ ※未就学児入場不可

◎Hyogoクリスマス・ジャズ・フェスティバル2024 小曾根真 ブラジリアンジャズナイト

チケット発売中

◎ピアノ / 小曾根 真、アンドレ・メマリー ○ベース / チアゴ・ゴスビート ○ドラムス / エドゥアール・カン ○パーカッション / KAN

神戸出身、日本が誇るジャズピアニストで、世界中で活躍している小曾根真。今回、ブラジルの至宝アンドレ・メマリーとの待望のピアノデュオが実現! ジャズ、クラシック両面の創作で世界的に知られる「若き巨匠」メマリーとともに、極上ブラジリアンジャズ・ナイトをお届けします!

■会場 / 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール ■開演 / 19:00
■料金(税込) / 全席指定 A¥6,000 B¥4,500 C¥3,000 D¥2,000
■チケット取扱い / 下記①②③④ ※未就学児入場不可

25 1/26 SUNDAY プロムナード・コンサート ネマニヤ(ヴァイオリン) presents トウプル・サンズ

チケット発売中

◎ヴァイオリン / ネマニヤ・ドロフチ ○弦楽合奏&チェンバロ / ドロフチ ○曲目 / 「ベートーヴェンヴァイオリンソナタ 第9番「クロイツェル」」ほか

「ナガニョニの再来」と評されるネマニヤ、超絶技巧と情熱的な演奏で人々を虜にしています。今回は自身によるベートーヴェンの「クロイツェルソナタ」に始まり、ひとりで聴かせる名曲「ジャンクス」、熱狂的なクラヴィックスへと誘うパッパの協奏曲を盟友たちと演奏。冬のさなか、この上ないコンサートです。

■会場 / 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール ■開演 / 14:00
■料金(税込) / 全席指定 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000 D¥1,000
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤ ※未就学児入場不可

12/15 SUNDAY HOPE Sadao Watanabe with Strings

チケット発売中

◎出演 / 渡辺貞夫(笛)、ラッセル・フレラン(ピアノ)、ペンタリウム(s)、村村一首(ds)、押津直之(ストリングス)

2023年の初登場時、満席の大ホールに歓喜の叫びをあげた本ジャズ界のレジェンド渡辺貞夫が、早くもフェニーチェ堺に凱旋。ますます人気熱を帯び、自身の交響曲第9巻、ドラマチックなピアノの編成にストリングスが参加し、再び極上の音色を響かせます。

■会場 / フェニーチェ堺 大ホール ■開演 / 16:00
■料金(税込) / 全席指定 S¥6,500 A¥5,500 B¥4,500
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥
■Pコード / 276-678 ■Lコード / 55725
※未就学児入場不可

12/28 SATURDAY 12/25 SATURDAY 川口成彦 フォルテピアノ リサイタルシリーズ 2024 -女性作曲家への憧れ-

チケット発売中

◎曲目 / (12月28日公演)「ベートーヴェンソナタ へ長調 op.4-1 ほか (12月25日公演)「ラヴェル「ソナタ」第2巻 op.14 ほか

クラシック音楽の歴史に彩られた美しい時間を刻み、また女性作曲家たち、彼女たちが紡いだ音楽の時代を、川口成彦が奏でるフォルテピアノの音色で巡ります。

(第1回)◎12/28(土) 「古典派からロマン派へ」 ◎使用楽器「ヨリシゲ・ヤマハ「125年記念」製 (2024年モデル) (2024クラヴィア) (新着)

(第2回)◎12/25(土) 「ロマン派から近代へ」 ◎使用楽器「エーラー 1852年製(ヤマモトコレクション所蔵)

■会場 / フェニーチェ堺 小ホール ■開演 / 15:00
■料金(税込) / 全席指定 各¥4,000 ■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥
■Pコード / 277-787 ■Lコード / 55975 ※未就学児入場不可

25 2/23 SUNDAY HOLIDAY フェニーチェ堺 開館5周年記念事業 「第九」コンサート

11/16(土)一チケット発売

指揮 / 瀧山智博 ◎出演 / 水野智敏、藤木大祐、加藤大、三原剛、大坂交響楽団、フェニーチェ堺 第九記念合唱団

開館5周年を記念して真紅の大ホールに響き渡る、ドラマチックな大合唱!名門ウーン楽友協会合唱団出身の指揮者 瀧山智博が大坂交響楽団と響る、渾身の交響曲 第9巻、歓喜の歌、絃場美智子が歌をテーマに作曲した「一古えの唄へ」百舌鳥原に響ける3つの墓碑銘も、14年ぶりに演奏が決定。

■会場 / フェニーチェ堺 大ホール ■開演 / 15:00
■料金(税込) / 全席指定 一般¥7,000 子ども(4~18歳)¥3,500
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥
■Pコード / 281-974 ■Lコード / 51377
※未就学児入場不可

25 3/30 SUNDAY 100チェロ・コンサート 「チェロよ、歌え!」

チケット発売中

◎出演 / ジョヴァンニ・ソリマ、エンリコ・メロツィを中心、世代やキャリア、国籍を超えて100人を超えるチェリストが集結!かつてないこの壮大なステージは絶対に見逃さない。見逃すな!

アート・カルチャーの「神話」 「ローマ/ヴェネチア」の文化的音楽で知られる世界中のチェロ奏者から注目を集める鬼才ジョヴァンニ・ソリマと盟友エンリコ・メロツィを中心に、世代やキャリア、国籍を超えて100人を超えるチェリストが集結!かつてないこの壮大なステージは絶対に見逃さない。見逃すな!

■会場 / フェニーチェ堺 大ホール ■開演 / 15:00
■料金(税込) / 全席指定 各¥4,000 ■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥
■Pコード / 278-387 ■Lコード / 51673
※3歳以下観覧不可、ただしお席が必要な場合は別途チケットをご購入

12/14 SATURDAY 12/15 SUNDAY ロボット

チケット発売中

◎原作 / カール・チャペック「ロボット」(瀧山 智博監訳) ◎演出 / ノゾエ征爾 ◎出演 / 水田航生、朝夏まなと、智原永二、加治将樹、坂田 穂、山本圭祐、小林ほな子、内田真由、柴田雄雄、根本大介、渡辺いっけい

1920年に発表され「ロボット」の語源となったカール・チャペックのSF戯曲の名作を、ノンエ征爾の演出により11名の実力俳優によって上演!100年後を予見したかのようなチャペックの世界を、シニカルかつ不条理なドラマとして転換し、「遠くない未来の世界」として現代に立ち上げます。ロボットと人間の共存が始まりつつある今を生きる私たちに、様々な問いを投げかける話題作。お見逃しなく!

■会場 / 兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール ■開演 / 12月14日(土)15:00 12月15日(日)13:00
■料金(税込) / 全席指定 ¥9,500
■チケット取扱い / 下記①②③④
※未就学児入場不可

25 2/15 SATURDAY 25 2/16 SUNDAY 古楽の愉しみ／バロック・オペラ・エボリューション2025 濱田芳通&アントネッロの「オルフェオ」

チケット発売中

◎指揮 / 濱田芳通 ◎演出 / 中村敬一 ◎出演 / 坂下忠弘、岡崎陽香ほか ◎管弦楽 / アントネッロ

ルネサンス文化が成熟し、バロック音楽が華開こうとする17世紀初頭の、ちに「オペラ」と呼ばれる新しい芸術の旗手となった天才作曲家モンテヴェルディは、ギリシャ神話「オルフェオ」の物語を見事な音楽劇に昇華しました。そして現代、当時の躍動するスピリットを、古楽界の才人・濱田芳通が生き生きと蘇らせました!今こそ新鮮で特別な「バロック・オペラ体験」を!

◎P4にて濱田芳通、中村敬一、坂下忠弘のインタビュー掲載!

■会場 / 兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール ■開演 / 各日14:00
■料金(税込) / 全席指定 A¥12,000 B¥8,000 C¥5,000
■チケット取扱い / 下記①②③④ ※未就学児入場不可

11/17 SUNDAY 松竹大歌舞伎

チケット発売中

◎出演 / 中村錦之助、中村隼人、市川英三郎、市川貴虎、市川右太衛門ほか ◎演目 / ご挨拶、双蝶々曲輪日記 引恋、身替座禪

松竹大歌舞伎がフェニーチェ堺で初公演決定! 萬屋親子が埋に歌舞伎の世界を届けます。中村隼人が素顔で登場する「ご挨拶」、情緒あふれる義太夫狂言の名作「双蝶々曲輪日記 引恋」、ユーモアあふれる狂言舞踊「身替座禪」をお楽しみください。

■会場 / フェニーチェ堺 大ホール ■開演 / 13:00
■料金(税込) / 全席指定 S¥9,500(9席) S¥7,000 A¥5,500 B¥4,500
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥
■Pコード / 527-927 ■Lコード / 53699 ※未就学児入場不可

11/23 SATURDAY HOLIDAY ナイブ二人形劇場(チェコ) 「こいぬと機関車」 -Choo,Choo,Whistle,Woof!-

チケット発売中

アンサンブルによる良質な作品を続け続けているナイブ二人形劇場。ユネスコ無形文化遺産に登録されているチェコの二人形劇の中でも、長年人々に親しまれている劇場のひとつです。今回は小さなお子さま大人も楽しめる、セリフのない二人形劇を上演します。はぐれてしまった友だちを探すために、機関車に乗って旅に出た一匹の子犬の冒険物語をお楽しみください。

■会場 / フェニーチェ堺 大ホール ■開演 / 11:00、13:30
■料金(税込) / 自由席 一般¥1,800 子ども(2~18歳まで)¥800
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥
■Pコード / 281-974 ■Lコード / 51377
※未就学児入場不可

11/24 SUNDAY 50 飛び猫写真展

11/24(土)12/26(日) 二チケット発売中

「飛び猫」「フコとマリモ」「ねご神」などの写真集が累計10万部発行の写真家・五十嵐健太の写真展が、写真に取った、大迫力&かわい猫写真を展示します。また、事前にご応募いただいた飼い猫さんの写真を集めた「ふもあつめ展」も同時開催!すてきな猫グッズも探しに来てください!

■会場 / フェニーチェ堺 文化交差点 ■開演 / 10:00~18:00(最終入場17:30)
■料金(税込) / 大人¥500 高校生以上¥300 ※未就学児無料
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥
■Pコード / 528-939 ■Lコード / 56204
※未就学児入場不可

25 1/18 SATURDAY 鳳凰亭落語シリーズ 桂南光 独演会

チケット発売中

◎出演 / 桂南光、桂川 吉、桂天吉 ◎制作協力 / 米朝事務所

東西の人気落語家が連続登場する、鳳凰亭落語シリーズ。上方落語界を代表する人気落語家桂南光が、フェニーチェ堺のオープニング以来、5年ぶりに登場します。円熟の落語をお楽しみください。

■会場 / フェニーチェ堺 小ホール ■開演 / 15:00
■料金(税込) / 全席指定 ¥4,000
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥
■Pコード / 528-939 ■Lコード / 56204
※未就学児入場不可

12/15 SUNDAY 兵庫芸術文化センター管弦楽団 第39回名曲コンサート プラームスNo.1

チケット発売中

◎指揮 / ユベール・スターン ○ピアノ / 菊池洋子 ◎管弦楽 / 兵庫芸術文化センター管弦楽団 ◎曲目 / プラームス/協奏曲 第1巻、交響曲 第1巻

耳なじみのある名作を気軽に、豪華に楽しめるPACの名曲コンサートシリーズ。前半のリストは、2002年モーツァルト国際コンクール優勝以来世界的に活躍し、近年ウィーン国立音楽大学で教鞭をとるピアニスト、菊池洋子。後半はプラームスの交響曲の中で最も人気のある第1巻をお届けします。

■会場 / 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール ■開演 / 15:00
■料金(税込) / 全席指定 A¥3,000 B¥1,000
■チケット取扱い / 下記①②③④ ※未就学児入場不可

◎兵庫芸術文化センター管弦楽団 定期演奏会 第155回定期演奏会 カーチン・ウォン マラー「悲劇的」

チケット発売中

◎指揮 / カーチン・ウォン ◎管弦楽 / 兵庫芸術文化センター管弦楽団 ◎曲目 / マラー「交響曲 第6番「悲劇的」

マラー作品に定評のある指揮者カーチン・ウォンが、このたび初めて第6番「悲劇的」に挑みます。多岐な楽器を使用した、大規模のオーケストラが特徴の第6番。印象的に用いられるカウベル、終楽章に振りが下ろされるインマーなど、ステージ上の奏者の動きから目が離せません!

■会場 / 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール ■開演 / 15:00
■料金(税込) / 全席指定 A¥5,000 B¥4,000 C¥2,500 D¥1,000
■チケット取扱い / 下記①②③④ ※未就学児入場不可

25 2/21 FRIDAY 25 2/23 SUNDAY 第157回定期演奏会 アルミンク ブルックナー7番

チケット発売中

◎指揮 / クリストファン・アルミンク ○チェンバロ / 中川英二郎 ◎管弦楽 / 兵庫芸術文化センター管弦楽団 ◎曲目 / ブルックナー「交響曲 第7巻」ほか

日本でも活躍の場を広げるクリストファン・アルミンクが2コースンバロに定期演奏会でタクトを執ります。前半は幅広いジャンルで活躍するトロンボーン奏者の中川英二郎がクラシックとジャズを融合した自身の作品「Trisense」を演奏します。

■会場 / 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール ■開演 / 15:00
■料金(税込) / 全席指定 A¥5,000 B¥4,000 C¥2,500 D¥1,000
■チケット取扱い / 下記①②③④ ※未就学児入場不可

25 3/7 SUNDAY 第158回定期演奏会 川瀬賢太郎 モーツァルト&シベリウス

チケット発売中

◎指揮 / 川瀬賢太郎 ○チェンバロ / シュテファン・ドール ◎管弦楽 / 兵庫芸術文化センター管弦楽団 ◎曲目 / シベリウス「交響曲 第5巻」ほか

前半はベルリン・フィル首席ホルン奏者、シュテファン・ドールに捧げられた細川俊夫「ホルン協奏曲-開花の時-」とホルン協奏曲の傑作であるモーツァルト「ホルン協奏曲 第3番」を演奏。後半はシベリウス「交響曲 第5巻」を演奏します。

■会場 / 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール ■開演 / 15:00
■料金(税込) / 全席指定 A¥5,000 B¥4,000 C¥2,500 D¥1,000
■チケット取扱い / 下記①②③④ ※未就学児入場不可

歌舞伎界が期待! 中村錦之助・隼人が「松竹大歌舞伎」で全国へ

松竹が「これからの歌舞伎界を背負う存在」と大きな期待を寄せた中村錦之助・隼人の親子がフェニーチェ堺にやってくる。父・錦之助は円熟した雲に磨きがかかる。息子・隼人は来年のNHK大河ドラマの出演が決まるなど注目の若手歌舞伎俳優だ。「全国に良質な歌舞伎を広める」使命を託された「親子の責任執行」にかけた2人の思いを聞いた。

——親子での全国巡業公演は10年ぶりだそうです。
錦之助:私たちが親子の興行は初めてなので、喜びとともに大きな責任があります。ここ5、6年隼人は成長著しく、「もう私がした。僕は今回、すべての台詞を大阪弁で喋ります。江戸歌舞伎ではありません。芝居を通して、ひとりの役者として息子と向き合えることが一番の楽しみです。
隼人:この巡業公演ではじめても歌舞伎を身近に感じていただくために、役者が素顔でお客様の前に出る「ご挨拶」を入れました。演目の解説や、ご当地のお話などしながらお客様と距離を縮めたいと思います。ぜひ、お話ししてください。とはいえ、僕はご挨拶から次の出番まで10分少々しかないで、支度時間も含めなかなかドキドキしています。(笑)
——2023年、隼人は1月の新春選考歌舞伎で、錦之助さまは7月の国立劇場で「引恋」をそれぞれ別の相手役で演じています。錦之助:「いつか引恋」を親子で共演したい」という夢がこどもに早く実現するのでもう思っていました。関西の方は義太夫狂言を見慣れているので、上方の役者と比べられることもあってもいいですが、隼人は自分を信じて挑戦してもらいたいです。
隼人:片岡仁左衛門のおじ様から「この演目は関西のものだ。俺に習うにはしっかり関西(上方歌舞伎)でやってみてほしい」と言われました。僕は今回、すべての台詞を大阪弁で喋ります。江戸歌舞伎とのミックスではない、完全な上方歌舞伎を演じているところに注目していただけたらと思います。
——隼人さんはドラマや演劇などでも活躍されています。
隼人:僕は歌舞伎以外の仕事も歌舞伎に生きていると思っています。昨年、ドラマの共演俳優の方に「隼人は芝居が厳密になった」と言われて嬉しかったです。歌舞伎は様式美のお芝居なので、遠くのお客様にも伝わるように大きく演じることが多いですが、自分も感情の繊細な変化をグラデーションのようにみせるように心がけています。
——隼人さんはドラマや演劇などでも活躍されています。
隼人:僕は歌舞伎以外の仕事も歌舞伎に生きていると思っています。昨年、ドラマの共演俳優の方に「隼人は芝居が厳密になった」と言われて嬉しかったです。歌舞伎は様式美のお芝居なので、遠くのお客様にも伝わるように大きく演じることが多いですが、自分も感情の繊細な変化をグラデーションのようにみせるように心がけています。
——隼人さんはドラマや演劇などでも活躍されています。
隼人:僕は歌舞伎以外の仕事も歌舞伎に生きていると思っています。昨年、ドラマの共演俳優の方に「隼人は芝居が厳密になった」と言われて嬉しかったです。歌舞伎は様式美のお芝居なので、遠くのお客様にも伝わるように大きく演じることが多いですが、自分も感情の繊細な変化をグラデーションのようにみせるように心がけています。
——隼人さんはドラマや演劇などでも活躍されています。
隼人:僕は歌舞伎以外の仕事も歌舞伎に生きていると思っています。昨年、ドラマの共演俳優の方に「隼人は芝居が厳密になった」と言われて嬉しかったです。歌舞伎は様式美のお芝居なので、遠くのお客様にも伝わるように大きく演じることが多いですが、自分も感情の繊細な変化をグラデーションのようにみせるように心がけています。

11/17 SUNDAY [チケット発売中] 「松竹大歌舞伎」

チケット発売中

◎出演 / 中村錦之助、中村隼人、市川英三郎、市川貴虎、市川右太衛門ほか ◎演目 / ご挨拶、双蝶々曲輪日記 引恋、身替座禪

松竹大歌舞伎がフェニーチェ堺で初公演決定! 萬屋親子が埋に歌舞伎の世界を届けます。中村隼人が素顔で登場する「ご挨拶」、情緒あふれる義太夫狂言の名作「双蝶々曲輪日記 引恋」、ユーモアあふれる狂言舞踊「身替座禪」をお楽しみください。

■会場 / フェニーチェ堺 大ホール ■開演 / 13:00
■料金(税込) / 全席指定 S¥9,500(9席) S¥7,000 A¥5,500 B¥4,500
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥
■Pコード / 527-927 ■Lコード / 53699 ※未就学児入場不可

Osaka 4major Orchestras
大阪4大オーケストラ
クラシックの広場
 Plaza of Classical Music

大阪を拠点に活動する4つのプロのオーケストラが
 “クラシック音楽の魅力”をお伝えする合同企画です。
 貴方も気軽にオーケストラと、オーケストラの奏でる素晴らしい音楽に触れてみませんか?!

大阪4大オーケストラ合同企画 Vol.25 (関西フィルハーモニー管弦楽団)

Osaka 4 major Orchestras Special Content
ライジングスター・プロジェクト
 2024 総括 RISING STAR PROJECT
 Summary 2024

何かに成功するためには他の誰にも負けない
 2つの強みを持つこと

公益財団法人関西・大阪21世紀協会と関西フィルハーモニー管弦楽団は共催で、次代を担う若手演奏家を発掘・育成する「ライジングスター・プロジェクト」を開始しました。先日最終審査が行われ、来年8月に関西フィルと協演する3名のスター候補が決定しました。プロジェクトの初年度を振り返ります。



©水野 浩徳

タモビリティ新大阪株式会社(大阪市淀川区東三国・久保行央社長)から、関西の若手クラシック演奏家の支援を目的として関西・大阪21世紀協会に託された寄付を活用して実施しているプロジェクトの一環。その名の通り、将来有望な関西ゆかりの若い演奏家を公募し、厳正なオーディション

を通じて、プロのオーケストラである関西フィルのフルオーケストラと協演する機会を提供するという大企画です。今年4月に募集を開始。応募年齢に上限(30歳、声楽のみ35歳)はあるものの下限は設けず、意欲と才能があれば何歳からでも応募可能となりました。また、関西元氣文化園2府8県に在住・在学・在勤経験があれば現在の活動拠点は問わないし、広く門戸を拡げました。

関西フィル首席指揮者の藤岡幸夫も「若くて才能のある演奏家にはいきなり大きな舞台を与える自分のポリシーに合っている」と期待を寄せたこの企画。蓋を開けてみれば下は小学生から上は30代まで、80件もの応募が。内容も声楽・ピアノ・ヴァイオリンからマリンバ・サクソフ・ファゴット・チューバまでバラエティに富んでおり、応募者の意気込みがうかがえました。その中から動画審査を経て実演審査(最終審査)に進んだのは11名。最終審査では、関西フィルの練習場であり協演が決まった晩にはリハーサルに訪れることになる門真市のルミエールホールで、それぞれが熱のこもった演奏を披露しました。「自分は絶対スターになるという気概のある人はぜひ気軽に応募してほしい、ただし選考は気にはしません」とプロジェクト発表時にコメントした藤岡指揮者も驚くレベルの高さで、審査員・オブザーバーの間で自然な議論が展開されました。その結果、突出して今すぐスターとして活躍できる方は該当者なしとなりましたが、スター候補として前述の3名を優秀賞に選出しました。3名は、2025年8月11日(月・祝)に開催する「Meet the Classic Vol.49」(会場:住友生命いずみホール)において、各々15分以内の曲で関西フィルと協演します。

「どなたの演奏も本当に素晴らしいが、3人は絶対普遍的にアピールする光るものを2つ以上持っていた。何かに成功するためには、他の誰にも負けない2つの強みを持つことが重要。それにより将来が大きく変わるだろう。皆さんも自分の魅力を見つけ、磨いていってほしい。今日選ばれなかった方々も来年またチャレンジしてください。これから協演する機会がきっとあると信じている。」

審査後の講評で藤岡指揮者はファイナリスト、そして全ての応募者に向けてこう語りました。これからはますます輝きを増すスター候補たちの音楽を聴きに、来年8月はぜひMeet the Classicへ足をお運びください。お待ちしております!

©Text: 関西フィルハーモニー管弦楽団 藤岡幸夫

大阪フィルハーモニー交響楽団

TEL.06-6656-4890 <http://www.osaka-phil.com>



11/14 THURSDAY
 シンフォニストの理想を求めて
 ～モーツァルトとブルックナーⅢ～

演奏機会が少ないブルックナーの初期交響曲に光をあてるシリーズ、いよいよ最終回。過去2回の演奏がいずれも大熱演、大名演であっただけに期待が高まる。同じオーストリア生まれの偉大な先輩作曲家モーツァルト最後の交響曲と、ブルックナーの原点である交響曲 第1番、それぞれの終わりと始まりが交錯するコンサート。記念年ならではの企画、聴き逃さない。



©Martin Richardson

11/22 FRIDAY
 11/23 SATURDAY
 大阪フィルハーモニー交響楽団
 第583回定期演奏会

登場の共演で好評だったロバート・レヴィーノが2度目の登場。現代作品演奏に意欲を燃やしたレヴィーノが今回持ってきたのは2022年に自身が初演を果たしたカリム・ルーストンの「奇妙な海」。ダマスカス生まれ、シリアにルーツを持つルーストンの作品が大阪の聴衆にどう受け止められるか楽しみだ。後半は大阪フィルにとって重要なレパートリーとなりつつあるショスタコヴィチから人気の7番を演奏。



©Christiaan Dirksen

取扱い ①大阪フィルチケットセンター ☎06-6656-4890 ②チケットぴあ <https://t.lipia.jp> ③ローンチケット <https://l.hike.com> ④イープラス <https://eplus.jp> ⑤サンフォニーチケットセンター ☎06-6453-2333 <http://www.symphonyhall.jp> ⑥フェスティバルホールチケットセンター ☎06-6231-2221 (10:00~18:00)

関西フィルハーモニー管弦楽団

TEL.06-6115-9911 <https://kansaiphil.jp>



11/29 FRIDAY
 関西フィルハーモニー管弦楽団
 第351回定期演奏会

音楽監督デュメイが選出した、19世紀末から20世紀初頭のフランスの名曲を堪能するプログラム。熟練の名手マルコウペイがデュメイの招きで関西フィル初登場を果たします。まずはデュメイの指揮・ヴァイオリンとコッペイのチェロによる「ミュージックと詩人たち」で幕開け。チェロ協奏曲でコッペイの妙技を堪能した後は「マメルロフ」で夢幻の世界に遊び、最後は「ボレロ」へ。フルートに始まり、様々な楽器に引き継がれていくメロディーのトーンがそれぞれの思いを繋ぎ、クライマックスへ向かいます。濃密な音の時間を、ぜひ一緒に。



©ELIAS ©S. S. S. S.

12/12 THURSDAY
 関西フィルハーモニー管弦楽団
 東大阪特別演奏会

「文化芸術のまち推進協定」を結ぶ東大阪市で毎年開催している「エンター・サ・ミュージック スペシャルコンサート」。今年は超人気ピアニスト・清塚信也を招き、首席指揮者・藤岡幸夫とのタッグでお楽しみいただけます。演奏はもちろんのこと、2人のトークでもご注目! 後半はチャイコフスキーの交響曲 第4番をじっくりと味わっていただく、1回で2度おいしいコンサートです。藤岡もアドバイザーとして関与した、音響の素晴らしいホールでお待ちしています!



©SHUN YAMAGISHI ©Yuji Takeuchi

取扱い ①関西フィルハーモニー管弦楽団 ☎06-6115-9911 ②関西フィルWebチケット <https://yfk1.ka-ruku.com/kansaiphil-s> ③サンフォニーチケットセンター ☎06-6453-2333 (火曜定休) <http://www.symphonyhall.jp> ④東大阪文化創造館オンラインチケット <https://higashiosaka-hall/online/> ⑤イープラス <https://eplus.jp> ⑥チケットぴあ <https://t.lipia.jp>

大阪交響楽団

TEL.072-226-5522 <https://sym.jp>



'25 1/5 SUNDAY
 Teatro Trinitario 2025
 新春を寿ぐ



『メリー・ウイドウ』の世界で巻き起こるオペラガラコンサート

フェニーチェ堺で新年を華やかに彩るオペラガラコンサート! フランツ・リバーの名作オペレッタ「メリー・ウイドウ」の世界観をベースに、オペラの名曲の数々を披露。全国の第一線で活躍するオペラ歌手によるゴージャスな宴が、新春の喜びを華麗に彩ります! フェニーチェ堺がオープンしてから、堺の文化力を全国に発信すべく始まった「Teatro Trinitario」。4回目を迎える今回は満を持して大阪交響楽団 常任指揮者の山下一史が指揮を務めます。お洒落なオペレッタの世界とオペラアリアや数々の名曲の魅力を十分に詰め込んだこのコンサートは、オペラ初心者からコアなファンまで幅広くおすすめです。フェニーチェ堺で楽しく陽気な新春ガラコンサートで新しい年の幕開けを迎えませんか?

- 指揮 / 山下一史 (常任指揮者) ■演出・構成 / 森川太郎
- 出演 / 堺シティオペラ、並河寿美、山田大智、西影星二、樹貴志、村岡 隆、Taro Morikawa、篠田博昭、晴 雅彦、石橋栄美、片桐直樹、水野智絵、村松裕之
- 管弦楽 / 大阪交響楽団 ■合唱 / 大阪響コーラス・堺シティオペラ記念合唱団 ■合唱指揮 / 中村貴志

■会場 / フェニーチェ堺 大ホール ■開演 / 14:00 ■料金(税込) / 全席指定 S\$9,000 S\$5,000 A\$3,000
 ■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥ ■Pコード / 278-374 ■Eコード / 56100
 ※未就学児入場不可 ※車いす席ご希望の方は大阪交響楽団チケットセンターまでご予約ください

取扱い ①大阪交響楽団チケットセンター ☎072-226-5522 (平日10:00~17:00) <https://sym.jp> ②チケットぴあ <https://t.lipia.jp> ③フェニーチェ堺 <https://www.feniche堺.jp/> チケット窓口(9:00~20:00 席1引継ぎ業務 祝日の場合は要予約) ④ローンチケット <https://l.hike.com> ⑤イープラス <https://eplus.jp> ⑥堺市文化振興財団チケットセンター ☎070-08-0089 ⑦堺シティオペラ ☎072-254-1151 (平日10:00~18:00) <http://ike@sakai-city-opera.jp>

日本センチュリー交響楽団

TEL.06-6848-3311 <https://www.jcso.or.jp>



25 1/13 MONDAY HOLIDAY
 日本センチュリー交響楽団
 第287回定期演奏会

館森範規 首席指揮者としてタクトを執る最後の定期演奏会。リストはドイツイアニズムを継承するヴィルトウオーゾ、マティアス・キルシュネライト。マエストロとセンチュリーが磨き上げてきたハイドン。その二長調の協奏曲、そしてメンデルスゾーンのロマンチズム溢れる名曲選。飯森マエストロとセンチュリーの集大成ともいえる、極上のアンサンブルが会場を満ちます!



©Ikenaga Naoki

'25 2/12 WEDNESDAY
 日本センチュリー交響楽団
 第288回定期演奏会

来シーズンから音楽監督に就任する久石 謙が2025年最後の定期演奏会を飾ります。久石マエストロと取り組んできたシューマン・チャルダスの完結は広く愛されている名曲「ライン」。そして個々の楽器の魅力とオーケストラの醍醐味が詰まったバルトーク晩年の傑作「管弦楽のための協奏曲」をお届けいたします。久石マエストロの斬新な解釈とセンチュリーの多彩な個人技にも是非ご注目ください!



©Shigenori Kishi

取扱い ①センチュリーチケットサービス ☎06-6848-3311 (平日10:00~18:00) <https://www.jcso.or.jp/ticket/> ②サンフォニーチケットセンター ☎06-6453-2333 (火曜定休) <http://www.symphonyhall.jp> ③チケットぴあ <https://t.lipia.jp> ④ローンチケット <https://l.hike.com> ⑤イープラス <https://eplus.jp>

大阪フィルハーモニー交響楽団
第9 シンフォニーの夕べ
新春名曲
コンサート

ベートーヴェン: 交響曲 第9番 三短調 作品125 [合唱付]
 指揮: ユベール・スダーシ ©F. Fujimoto

12月29日(日)・30日(月) 17:00開演
 A席7,000円 B席5,500円 C席3,500円 BOX席8,000円

2025年1月11日(土) 15:00開演
 A席6,500円 B席5,500円 C席3,500円 BOX席7,500円 お楽しみ抽選会あり

両公演とも会場 フェスティバルホール ※全席指定・税込 ※未就学のお子さまのご入場はお断りさせていただきます。 ※平仮名を付した曲名は変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

発売中!! 大阪フィル・チケットセンター ☎06-6656-4890 月~金10:00~18:00、土10:00~13:00・日休

関西フィルハーモニー管弦楽団
第九 特別演奏会

あのフジコ・ヘミングの最後の愛を
 一身に受けたマエストロ、
 マリオ・コシツクが、気鋭のソリスト陣を得て、
 推進力に満ちた「第九」を
 雄渾に響かせる注目の公演。

12.7 開演 14:30 (開場 13:30)
 ザ・シンフォニーホール

【全席指定・税込】
 S:6,500 A:5,000 B:3,500 C:2,500
 学生席:1,000 (25歳以下)
 ※学生席は、関西フィル事務局のみ取扱い
 ※未就学児入場不可

指揮 マリオ・コシツク
 合唱 関西フィルハーモニー合唱団

「コリオラン」序曲 作品62
 交響曲第9番 三短調 作品125 [合唱付]

ベートーヴェン、彼岸への旅 (前篇)

ご予約お問合せ 関西フィルハーモニー管弦楽団 ☎06-6115-9911 (平日10:00~17:00、土10:00~16:00) 関西フィルWEBチケット (オンラインでのお申し込み) <https://yfk1.ka-ruku.com/kansaiphil-s/>

指揮: 柴田 真都 (ミュージックパートナー)
 出演: 並河 寿美 / ドンナ・レオノーラ
 笛田 博昭 / ドン・アルヴァーロ
 青山 貴 / ドン・カルロ・デ・ヴァルガス
 山下 裕賢 / プレフィジッラ
 松森 治 / カタロ・ヴァレロ
 片桐直樹 / フェルディナンド神父
 晴 雅彦 / フラ・メロニ
 水野 智絵 / クラ
 湯浅 貴斗 / 母長
 水口 健次 / ドラゴ
 西尾 岳史 / スペインの軍医
 合唱 / 大阪響コーラス
 合唱指揮 / 中村 貴志

2025 2/9 (日) 開演 / 15:00
 ザ・シンフォニーホール

ジュゼッペ・ヴェルディ / 歌劇「運命の力」
 演奏形式 原語(イタリア語) 上演 [日本語字幕付き]

チケット料金
 S席 6,500円・A席 5,500円・B席 4,000円
 C席 2,500円・オルガン席 2,000円
 青少年学生券 1回券1,000円 5回券4,000円

MEG特典 チケット郵送料手料 500円無料
 ※一部の座席で字幕が見えない可能性があります。詳しくは楽団事務局までお問い合わせください。

チケット予約お問い合わせ ☎072-226-5522 (平日10:00~17:00)

日本センチュリー交響楽団 SNSをフォローしてください
10/24(日)~
LINE公式アカウント開設!
友だち登録大募集!!

待望のLINE公式アカウントを開設いたします。
 これまで以上に、手軽にセンチュリーの情報がキャッチ可能に!
 皆さまのご登録を心よりお待ち申し上げます。

楽しい! 嬉しい!
 いち早く情報をキャッチ!

コンサート最新情報をはじめ、アーティストや楽団員のメッセージ動画など、SNSでの様々な投稿をお楽しみいただいております。ご自身のお好みに合わせてフォロー、または全コンテンツ制覇も大歓迎です!

QRコード: <https://www.jcso.or.jp/line/>

大阪交響楽団 第277回定期演奏会 オペラ演奏形式シリーズ Vol.3

茨木市市民総合センター

TEL.072-625-3055 <https://www.ibabun.jp>

12/8 SUNDAY

みんなでダンス in Ibaraki プロジェクト 「みんなでつくるダンス公演」 ～障害のある人もない人も一緒に踊ろう～

公演の無や年齢、性別を超えて、市民が一緒に踊り、表現するダンス公演が4年目を迎えます。今回は、ダンスだけでなく、音楽や衣装制作にも参加でき、多くの人に楽しめる場を提供しています。文化芸術を通して多様な人々が自然につながれる温かい場所を創るプロジェクト、あなたも参加してみませんか？

障害の有無や年齢、性別を超えて、市民が一緒に踊り、表現するダンス公演が4年目を迎えます。今回は、ダンスだけでなく、音楽や衣装制作にも参加でき、多くの人に楽しめる場を提供しています。文化芸術を通して多様な人々が自然につながれる温かい場所を創るプロジェクト、あなたも参加してみませんか？

①「楽器作りワークショップ」
開演前のステージ上で出演者の紹介や小道具、衣装に携わっていたり機会を設けます。

②「開演前観賞サポート会」
開演前のステージ上で出演者の紹介や小道具、衣装に携わっていたり機会を設けます。

チケット取扱い ①茨木市文化振興財団 TEL072-625-3055 <https://www.ibabun.jp/>



印象派

モネからアメリカへ

ウスター美術館所蔵

2025.1/5(日)まで開催中!

火～金 10:00～20:00 土日祝 10:00～18:00

入場券 一般 2,000円 / 大高生 1,600円 / 中小学生 500円

あべのハルカス美術館

あべのハルカス美術館 06-4399-9050 <https://www.ytv.co.jp/moneame/> ytv



くるみ割り人形

The Nutcracker 全2幕 Ballet in two acts

2024 12.23 [月] 開演 18:30 (開場 17:50) 5歳以上入場可

会場: フェニーチェ堺 大ホール

入場料金: ¥3,000～¥12,000 U25シート ¥2,000

12月23日(月) 開演 18:30 (開場 17:50) 5歳以上入場可

フェニーチェ堺 大ホール

金子仁美 池本祥真

チケット好評発売中!



Die Fledermaus

喜歌劇 こらもり

第98回オペラ公演 関西二期会創設60周年記念公演

指揮 鈴木惠里奈

演出 太田麻衣子

客演 桂春蝶

11/30(土) 開演 16:00 (開場 15:00)

12/1(日) 開演 14:00 (開場 13:00)

メイシアター吹田市文化会館大ホール

入場料 (全席指定/税込) 特S¥12,000 S¥10,000 A¥8,000 B¥5,000 C¥3,000

チケット取扱い ①茨木市文化振興財団 TEL072-625-3055 <https://www.ibabun.jp/>

SPECIAL INTERVIEW 01

山田和樹 × 堀朋平

Kazuki Yamada × Tomohei Hori
若き名匠 山田和樹と大阪の4つのプロオーケストラによるプロジェクト再び!



住友生命いずみホールでのチャレンジングなプロジェクト「シューベルト交響曲全曲演奏会」が行われたのは2022年9月のこと。山田和樹が大阪の4つから見事に異なったサウンドと魅力を引き出し、シューベルトの作品の奥深さを提示してみせた。あの壮大なプロジェクトが、作曲家をメンデルスゾーンに替えて戻って来る!企画・監修を務める、住友生命いずみホール音楽アドバイザー堀朋平と山田和樹に話を聞いた。

—— 前回の「シューベルトのシリーズ」に関して、大阪4つオーケストラの企画をやらうと思ったのは何故ですか。山田:前回の「シューベルト」の本番のあとで2年おきくらいのペースでやらうと思っていました。次はメンデルスゾーンがいかなどをおもわず口走った(笑)。あの時、堀さんが分厚いシューベルトの本を書かしてくれて、堀さんがシューベルくらいメンデルスゾンの事を愛してくれてからの企画が出来たかなと思ったのです。堀:今ではシューベルトよりメンデルスゾーンの方が好きですよ(笑)。山田:山田はご自分で向でもできる人ですが、同時に周囲の人の能力を活かすこと上手な方、メンデルスゾーンは溢れる才能に恵れ、バランスよく音を紡ぐ“光”のイメージの作曲家ですが、山田さんのイメージと被ります。—— プログラムについて教えてください。堀:“光”のイメージが強いメンデルスゾーンですが、逆の側面もあります。4つのオーケストラなので、初日と4日目でコントラストをつけてプログラムを組みました。「燦々-祝典、そして南へ」と題する初日は、光溢れる祝祭的なイメージで序曲を3曲、交響曲を2曲並べました。演奏は大阪交響楽団です。4日目は「波濤-荒ぶる天才、北へ」と題し、凍てつく風景を短調の曲を並べて表現しました。交響曲2曲と序曲に加え、小林愛実さんのピアノで協奏曲第2番が並びます。最後は交響曲第3番(スコットランド)を大阪フィルが演奏して締め括ります。—— 今回の、東京混声合唱団が参加します。堀:2日目は「光輝-見いだされた輝き」と題し、ヴァイオリン協奏曲を周防亮介さんが弾き、交響曲 第2番「讃歌」では山田さんが音楽監督を務める東瀛に合唱をお願いしました。オーケは関西フィルです。3日目は「救済-世を照らす祈り」と題して、今回のメインプログラムとなるオラトリオ(エリヤ)を、東瀛と日本センチュリーに加え、素晴らしいソリストの皆さんで演奏します。山田:曲目とオーケの組み合わせが絶妙です。(エリヤ)は僕がやりたいと言いました。東瀛をこの企画で皆さんに紹介できるのは嬉しいです。序曲は僕も指揮したことがない「カマチャクの婚礼」や「アンティゴネ」などが並んでいます。メンデルスゾンの違った魅力を紹介できると嬉しいです。—— このプログラムを通してメンデルスゾンのどこを聴いて欲

©Interview&Text_磯島浩彰

「メンデルスゾーン——光のほうに」

25/1/22 WEDNESDAY [チケット発売中]
【Vol.1 燦々-祝典、そして南へ】大阪交響楽団
■開演: 19:00 ■料金(税込)/全席指定 一般¥6,000 U-30¥3,000
25/1/25 SATURDAY [チケット発売中]
【Vol.2 光輝-見いだされた輝き】関西フィルハーモニー管弦楽団
■開演: 16:00 ■料金(税込)/全席指定 一般¥7,500 U-30¥3,000
25/1/26 SUNDAY [チケット発売中]
【Vol.3 救済-世を照らす祈り】日本センチュリー交響楽団
■開演: 16:00 ■料金(税込)/全席指定 一般¥7,500 U-30¥3,000
25/1/29 WEDNESDAY [チケット発売中]
【Vol.4 波濤-荒ぶる天才、北へ】大阪フィルハーモニー交響楽団
■開演: 19:00 ■料金(税込)/全席指定 一般¥7,500 U-30¥3,000
【全公演共通】会場、住友生命いずみホール
■お問合せ_住友生命いずみホール TEL.06-6944-1188(10:30~17:00 ※日曜・祝日は休業)



SPECIAL INTERVIEW 03 Augustin Dumay

オーギュスタン・デュメイ

2000年に初めてタクトを執り、2008年には首席指揮者に就く。2011年からは楽団初の音楽監督に就任したオーギュスタン・デュメイ。長きに渡る関西フィルとの関係は、今がまさに絶頂期にあるのではないかと。「第2回欧州公演」以来となる両者が作り出す音楽は、聴き逃さない。

二つのホールで違ったタイプのプログラム。遅ればせながら関西フィル「第2回欧州公演」の成果を披露する!

—— 作品の舞台である、京都とはこれまで縁がなかったのか。実はプライベートではなく、撮影で太秦のスタジオで滞在していたのと春秋座での舞台公演でしかなく、これまで南座さんのある周辺には縁がなく、やっとうという感じで。今回初めて作品にも登場する下鴨神社や先斗町を訪れてみてこういう風景の中で繰り広げられていくんだって、想像力が働きました。—— 原作などは参考にしているのでしょうか。原作があるのとは基本的に、読まないようにしてなんです。その役をするにあたって先入観をつけない方がいいから。だからこそ、今回の台本と演出のG2さんが原作にリスペクトして、その世界観に則って書かれた本をしっかりと読んで、自分なりに解釈してキャラを膨らませながら、G2さん、共演者さんたちのキャラと調整とすり合わせをしていくのが好きなんです。もちろん、原作を知って見に来てくださる方の期待を決して裏切らないようにしています。—— 今回の台本を読んでみて、濱田さんが演じる矢三郎というキャラはいかがでしたか。物語が展開する上で、起承転結の「転」の部分が多いんですけど、意外とその「転」を起こすのが矢三郎ではなく、反対に「転」に巻き込まれるキャラであると思ったんですね。うなるリアクション、いわゆるウケの芝居になっていっただけなんです。そっちに振り回すごちゃごちゃと、キャラクターとしては物語の中で「落ちていくような気がする」ので、そこはちゃんとウケておきたい。アクションも起こしていきけるキャラやお芝居作りをしていかないとって思います。あと今回、スレートプレイということで、森見先生の小説は言葉のジョックが多く、言葉遊びに遊んでいると聞いていたので台本もそんな感じになるだろうなって、心配してたんですが、案の定、矢三郎はストーリーテラーも担っていてカオリがあるなど(笑)。—— 矢三郎は中村鷹之資さんとのWキャストですが、その部分は意識していますか。見比べられるのはどうがないですが、演技という部分では同じですが、歌舞伎俳優がこれまでやってきたことはジャンルが違いますが、一ヶ月ちょっとの稽古期間中に、自分の中で活かせる部分があるはずなので、そこは汲み取って(笑)それも実際に自分にとって矢三郎というキャラを膨らませる面白味にもなるはずなんです。その上で二人の矢三郎の「有頂天家族」を見ていただいてどちらを見ても面白かったと思って嬉しいです。

11/29 FRIDAY [チケット発売中] 第351回 定期演奏会 「巴里の灯は遠く…1920's、輝けるフランス」
■会場_ザンファンオーケストラ 開演: 19:00
■料金(税込)/S(サン入プログラム付)¥6,000 C¥2,500
学生席(25歳以下)¥1,000
■お問合せ_関西フィルハーモニー交響楽団事務局 TEL.06-6115-9911 (月～金10:00～17:00 土10:00～16:00日・夜休業)

SPECIAL INTERVIEW 02

飯森範親 Norichika Iimori

首席指揮者 飯森範親が指揮する、任期ラストとなる「第287回定期演奏会」と、感動のゴールを迎える「ハイドンマラソン」

2014年から首席指揮者のポジションに就き、日本センチュリー交響楽団を関西唯一の勝利オーケストラへと牽引してきた屈指のオーケストラ指揮者飯森範親。首席指揮者として臨む最後の「定期演奏会」と、ハイドンの交響曲全104曲全てを演奏・録音する壮大なプロジェクト「ハイドンマラソン」のファイナルについて話を聞いた。

—— 首席指揮者の任期最後の「第287回定期演奏会」の聴きどころを教えてください。飯森:ここまでのこのオーケストラに関わられたことは私の誇りです。「ハイドンマラソン」のゴールを、ザンファンオーケストラと共に祝いましょう。—— 10年がかりの大プロジェクト「ハイドンマラソン」もいよいよ感動の最終回を迎えます。第104番「ロンドン」をラストに交響曲第84番と、モーツァルトの「アヴェヴェルム・コルサス」、レイエムより「ラクリモサ(涙の日)」と合唱の入る曲が並びました。交響曲 第84番は「パリ交響曲」の3曲目です。第104番「ロンドン」は、12曲ある「ロンドン交響曲」の最後を飾るに相応しい見事な曲。ハイドンを語る上で欠くこと出来ない曲と同時に、最後は関係の深いモーツァルトの合唱曲を演奏します。うーん、そうですね、名付けて「ウィーンの栄華、パリそしてロンドン」という感じでしょうか(笑)。モーツァルトの絶筆として知られる「レイエム」の第8曲「ラクリモサ」ですが、我々の「ハイドンプロジェクト」は未定ではな見事に完成したという達成感をお客様と一緒に歓喜の涙を流し祝福したいという意味を含めて、この曲を演奏します。—— 当初、10年を有する壮大なプロジェクトなので、本当に完結するの半信半疑でした。プロジェクトの完結を以て、首席指揮者を最後になれるあたり、マエストロ格好良いです。最後は皆で大記録樹立を喜び合っています。首席指揮者に就任した当時、既にセンチュリーは美しい音を奏でる上手なオーケストラでした。ただ、その瞬間も躊躇うことなくエネルギーをぶつけるような、思い切りのあるオーケはなかった。そんな時「ハイドンマラソン」を思い付いたのです。実現だけでなく録音するのは大変です。しかしそれくらい大胆な挑戦をすれば、彼らの技術やオーケの持つ唯一無二の魅力をもっと広げたいと思い提議しました。今ではここ一番、思いっきり羽目を外すくらいの積極性が出せるオーケストラに変貌を遂げたと満足しています。—— 最後にメッセージをお願いします。色々大変な事が多かった日本センチュリー交響楽団ですが、必死に食い付きながら音楽をやっていたメンバーの姿を見て感動

©Interview&Text_磯島浩彰

「第287回定期演奏会」

■会場_ザンファンオーケストラ 開演: 14:00
■料金(税込)/S(サン入プログラム付)¥6,000 ※電話のみで取扱い
A¥6,500 B¥5,000 C¥3,500 D¥2,000
■お問合せ_センチュリーオーケストラ TEL.06-6848-3311(平日10:00~18:00)

SPECIAL INTERVIEW 04

濱田龍臣 Tatsuomi Hamada

京都を舞台に狸と天狗と人間が三つ巴の戦いを繰り広げる!

11/16 SATURDAY ~ 23 SATURDAY HOLIDAY [チケット発売中] 「有頂天家族」

これまでアニメやラジオドラマ、音楽劇などにもなった森見登美彦の大人気小説「有頂天家族」がストリートプレイとして上演。しかも小説の舞台である京都は南座で!今回、中村鷹之資さんのWキャストで主人公・矢三郎を演じる濱田龍臣に話を聞いた。



—— 作品の舞台である、京都とはこれまで縁がなかったのか。実はプライベートではなく、撮影で太秦のスタジオで滞在していたのと春秋座での舞台公演でしかなく、これまで南座さんのある周辺には縁がなく、やっとうという感じで。今回初めて作品にも登場する下鴨神社や先斗町を訪れてみてこういう風景の中で繰り広げられていくんだって、想像力が働きました。—— 原作などは参考にしているのでしょうか。原作があるのとは基本的に、読まないようにしてなんです。その役をするにあたって先入観をつけない方がいいから。だからこそ、今回の台本と演出のG2さんが原作にリスペクトして、その世界観に則って書かれた本をしっかりと読んで、自分なりに解釈してキャラを膨らませながら、G2さん、共演者さんたちのキャラと調整とすり合わせをしていくのが好きなんです。もちろん、原作を知って見に来てくださる方の期待を決して裏切らないようにしています。—— 今回の台本を読んでみて、濱田さんが演じる矢三郎というキャラはいかがでしたか。物語が展開する上で、起承転結の「転」の部分が多いんですけど、意外とその「転」を起こすのが矢三郎ではなく、反対に「転」に巻き込まれるキャラであると思ったんですね。うなるリアクション、いわゆるウケの芝居になっていっただけなんです。そっちに振り回すごちゃごちゃと、キャラクターとしては物語の中で「落ちていくような気がする」ので、そこはちゃんとウケておきたい。アクションも起こしていきけるキャラやお芝居作りをしていかないとって思います。あと今回、スレートプレイということで、森見先生の小説は言葉のジョックが多く、言葉遊びに遊んでいると聞いていたので台本もそんな感じになるだろうなって、心配してたんですが、案の定、矢三郎はストーリーテラーも担っていてカオリがあるなど(笑)。—— 矢三郎は中村鷹之資さんとのWキャストですが、その部分は意識していますか。見比べられるのはどうがないですが、演技という部分では同じですが、歌舞伎俳優がこれまでやってきたことはジャンルが違いますが、一ヶ月ちょっとの稽古期間中に、自分の中で活かせる部分があるはずなので、そこは汲み取って(笑)それも実際に自分にとって矢三郎というキャラを膨らませる面白味にもなるはずなんです。その上で二人の矢三郎の「有頂天家族」を見ていただいてどちらを見ても面白かったと思って嬉しいです。

11/29 FRIDAY [チケット発売中] 第351回 定期演奏会 「巴里の灯は遠く…1920's、輝けるフランス」
■会場_ザンファンオーケストラ 開演: 19:00
■料金(税込)/S(サン入プログラム付)¥6,000 C¥2,500
学生席(25歳以下)¥1,000
■お問合せ_関西フィルハーモニー交響楽団事務局 TEL.06-6115-9911 (月～金10:00～17:00 土10:00～16:00日・夜休業)

チケットぴあ Special Selection

チケットぴあは音楽、スポーツ、演劇など、あらゆる催し物のチケットを販売しております。

その中でも、今、ぴあがイチオシするエンタテインメントを厳選してピックアップ！

今号はミュージカル『ストーリー・オブ・マイ・ライフ』に出演の山崎大輝さん・小野塚勇人さんのインタビューをお届けします！

ダイナミックで美しい音楽と共に 二人の男の友情を描いたミュージカル

音楽・作詞：ニール・パートラム、脚本：ブライアン・ヒルの手によって、2009年にブロードウェイで初演されたミュージカル『ストーリー・オブ・マイ・ライフ』。日本では2019年に初演、21年に再演され、今回で3回目の上演となる。ともに初参加となる山崎大輝と小野塚勇人に話を聞いた。

—出演が決まったときの感想は？

山崎 二人だけのミュージカルで、楽曲も多いので、率直に大変だろうなと思いました。脚本を読んで限りでは、これは過去なのか、現在なのか、理解しづらくて……舞台上で過去と現在をシームレスに生きられたら「本物」になれるだろうなと今は思っています。

小野塚 海外の作品で、日本でもこれまで2回上演されているので、ある程度「型」があると思うのですが、その中で自分がどうはみ出すことができるのかを考えています。とはいえ、僕も大輝くんと同じで、脚本を読んだだけでは捉えられないものがあった。稽古を通じて、この2人の友情を表現できたらと思います。

—二人だけのミュージカルですね。

山崎 一瞬たりとも集中が切れてはいけませんし、エネルギーが必要になるでしょうね。稽古の段階から、勇人くんのことを命綱だと思って、頼り続けていきたいと思っています。僕らもアルヴィンとトーマスのような切っても切り離せない関係性になっていくと思うので、その間柄をうまく利用できたらいいですね。

小野塚 少人数ミュージカルの経験はあるけれど、二人だけのミュージカルは初めて。今は「水は飲めるのか？」なんて考えてしまいますが(笑)。観客のみなさんに「二人なのに、これだけの重量のものをやれたんだ」と感じてほしいわけではなく、アルヴィンとトーマスの物語をしっかりと届けたいです。

—お互いの印象は？

山崎 ちゃんとお話をしたのはビジュアル撮影のときが初めて。勇人くんは一目クールに見えますが、見た目とは裏腹に柔軟で、相手のスタイルを受け入れてくれる方だなと思いました。



小野塚 あの撮影でそこまで分かるの(笑)。僕は誰とでも仲良くなるタイプなので、そこは安心してもらって、稽古を通して仲良くなってほしい。ひとまず大輝くんが絡みづらい人でなくてよかった(笑)。作品のことを話さずとも同じ目線で話せそうな雰囲気を持っていてよかったです。

—最後に上演を楽しみにしているみなさんへ一言！

山崎 日本で本作を演じるのは、僕らが3ペー目。新しいペアが生まれたということは、これまでとは少し違ったものを求められているはずなので、僕らならではのものを作っていきたく。勇人くんとなら、実直に作品に向かっていけそうな気がします。作品が好きの方も、一度も観たことがない方も、期待しててください。

小野塚 最近「昭和の日本人を演じてきたので、役名が英語名で格好いいな」と思っています。期間中「小野塚トーマス勇人」と改名しようかな(笑)。お客さまは日頃のいろいろなストレスがある中でも、観劇する時間を「生きがい」や「楽しみ」に思っているはず。そんな作品をお届けできるように頑張ります！

取材・文 / 五月女菜穂

ミュージカル『ストーリー・オブ・マイ・ライフ』

■2024年11月22日(金)・23日(土・祝) ■サンケイホールブリーゼ ■全席指定-10500円

【作詞・作曲】ニール・パートラム 【脚本】ブライアン・ヒル 【演出】高橋正徳(文学座)

【出演】アルヴィン:太田基裕 × トーマス:牧島 輝

アルヴィン:山崎大輝 × トーマス:小野塚勇人 ※未就学児童は入場不可。

11月	22	23	◇=太田×牧島 ○=山崎×小野塚
13:00		○	
14:00	◇		
18:30	◇		

チケットの購入はコチラ！



チケット発売中

～ぴあでチケットを購入するには？～

パソコン・スマートフォンで購入

- 公式サイト(t.pia.jp)かチケットぴあアプリにアクセスし、会員登録。登録料・年会費は無料。
- 購入したい公演を検索し、ご希望の開催日程や枚数をお選びください。
- お支払いの手続き。クレジットカード、コンビニ支払い、電子マネーで支払い可能。
- チケットの引き取り。※引取方法はチケットをご購入の際にご確認ください。

セブン-イレブンで購入

店内の「マルチコピー機」で、画面に従ってご操作ください。

無料でダウンロード

スマートフォンをお持ちの方は、チケットぴあアプリが早く、便利です。



隔月発行！

演劇情報フリーマガジン ステージぴあ関西版



榎原敬之

2024年冬ツアー「マキハラボ」

デビュー35周年イヤー企画第1弾！

ピアノ、弦、パーカッション、コーラスとともにどこまで楽曲の世界観を表現できるか 実験するコンセプト・ツアー開催！！

12/23 (月) 18:30・12/24 (火) 18:30
神戸国際会館こくさいホール

¥9,800 (全席指定・税込) 10/25(金)12:00PM

先行受付実施! 10/20(日)5:00~10/23(水)23:59

https://w.pia.jp/makiharanyuk124meg/

三上博史の「ヘドウィグ」

20年ぶりに復活!

日本初演オリジナルキャストの巨匠博史と「アングリーインチ」がライブバージョンで帰ってくる!

作: ジョン・キャメロン・ミッチェル 作詞・作曲: スティーヴン・トラスク 脚戯: 青井陽治 / 三上博史 / エミ・エレオノラ / 近田真央

〈出演〉

三上博史 横山英規 / Ba. エミ・エレオノラ / Pf. Cho. テラシイ / Gt. 中塚一郎 / Drs. 吉田光 / Gt.

12/14 (土) 14:00・12/15 (日) 14:00
京都劇場

¥10,800 (全席指定・税込) 11/10(日)10:00AM

先行受付実施! 10/20(日)5:00~10/27(日)23:59

https://w.pia.jp/mikamihiroshi24meg/

藤木大地の大冒険

#01 ニッチな歌手のリッチなあいさつ

友だち100人できるかなと歌っていたのは一年生になる前だ。あれから40年ぐらい経って、もちろん時代も変わって、ポチッとする友だちがクエスミみたいなやつも生まれちゃって、友だちってなに? どころかどこまで? と考え込むこともあった。リアルで親友申請の事後的に不成立みたいなことも逆にあったっけ。

今、18年ぶりのアメリカに身を置いていて、友だちがいなければ一生送り着かなかった森の中のお家に泊めてもらい、散歩して見つけた湖のような河辺の無人小屋の階段に腰掛けてこれを綴っている。そういえば僕には、自力では絶対に見ることのできなかっただろう景色が世界にいくつもある。こんな、この街の小さな教会で小さなコンサートをすることになっている。ここはだれも僕のことを知らない場所だ。「お客さんは10人かもしれないし、100人かもしれないけど、おれたちがやることは一緒だからな」とその音楽会を作ってくれた歳の離れた友だちの名ピアニスト

が言っている。ゆっくり考えてみるとそこにたぶん本質があって、クラシック音楽という、なにやら敷居のお高くて華やかで浮世離れしてて取ったイメージや、舞台に立つ者オーディエンス双方の承認欲求や、オンガクの手札で何かを救いたいとか一見のキレイゴトを削ぎ落としたあとに残る、音をつうじたピュアな空間コミュニケーションに行きつけるのではないかな。実は本日の演奏会では、誰もギャラをもらわない約束になっている。入場も無料だ。音楽の授受にカネが介在しないことによって、職業とか稼ぎとか儲けとか、小学生になってから目指してきたような食っていたためのナマナマしいものを引き算した、ひとに喜んでもらえる結果だけが残る演奏ができるのかもかもしれない。救われた歌詞の意味もよくわからないまま無邪気に口ずさんでいたあの頃のように。友だちとはむしろ、スマホでいつもつながらなくていい。と今の僕は思っている。だって会った時にしゃべることなくなるじゃん。なにがのきっ



かけてふと思いで連絡がとれて、ハワユと尋ねたいじゃん。会えたら砂で昔のままに戻りたいじゃん。同じような気持ちを僕らの友だちも持ってくれていたらうれしいと思う。カッコつけなくなった時期に新しい連戦がはじまりました。ゆるく書きまでするので、よかつたゆるくお付き合ってください。カウンターテナー歌手、藤木大地でした!

#01 「上方の匂い」

まずはMEG関西版にいつもお世話になっておりまして、沢山の関西の歌舞伎の情報を載せてくださり、ありがとうございます! それと同時にお客様を非日常にお連れする使命をいただきます。関西で歌舞伎を行う主な劇場である京都南座と大阪松竹園の劇場間は私にこのことをとても強く感じている場所でありまして、そうさせてくれるのは身体に流れる上方の血なのがお客様の雰囲気なのか、それとも劇場に宿る芝居の神様なのか、それらに驚いたように、使命感を全うする武器として、匂いは大きなアビリティになると思っております。だからこそ、その醸し出すことのできる香りをとんとん色濃くしていきたい! ペースをのまめにそへて、客々たる俳優の姿を足し引き出来る役者になっていきたい。と、9月京都南座での「あらしのよるに」のめい、というヤギを演じ終え、ふと思いつかせる今日この頃。「ヤギほいって、みんなに言われたのは裏め言葉? ヤギを醸し出す匂いってなんなんだろう? 匂いって動物を指すから、演じ終えてからも良く脳裏で考えてしまっ役者人生。

歌舞伎俳優 中村 孝太郎

暉峻創三の特選シネマ

第二十五回 「カフネ」

大阪アジア映画祭は、日本映画も相当な数が上映される映画祭だ。なかでもインディフォーラムは、日本映画が数多く上映される部門として、海外からも注目されるに至っている。その部門名の通り、メジャー商業映画ではなく、インディーズ系の作品が揃う部門。とはいえ、これら映画界入りを目指す学生や若者の作品よりも、既に映画、映像の世界でそれなりの経験を積んだ人、名声を確立した人の作品が多く選出されてきたのが特徴。また、個人による自主製作ではなく、メジャーじゃないにせよ、全国規模でキャスティングを展開。ヒロイン役に起用された山崎翠佳の、青春の懸命さと脆さ、そして強さを絶妙なバランスで表現した演技が、作品に圧倒的な説得力を与えた。しばしば激しい感情が支配する作品だが、監督の一貫して腰の据わった演出、カット構成が、映画に大人の風格をもたらし、ことも見逃せない。

【カフネ】
11月2日(土)よりシアターセブンにて公開。

◎磯島浩彰さんのコラム「弾む音符の向こう側」はVol.26よりリニューアルしてお送り致します。どうぞお楽しみに!

Producer / 石原 卓 (questroom)

Chief Editor / 杉岡 ちず子 (questroom)

Editor / 紅粉 チコ

Brain / 磯島 浩彰

Designer / 赤坂 由有 (goldfish projection)

Cover Photographer / 安田 慎一 (STUDIO SHN)

Photographer / 中野 建太

Interview / 岩本 和子、北島 あや、仲谷 暢之、田村 のりこ

Special Thanks / 永井 敬子 (questroom)

Printing / 株式会社 朝日プリンテック

Distribution / 株式会社 朝日オリコミ大阪

MEG WEST VOL.25
2024. October
TAKE FREE
Mixture Entertainment Guide

掲載内容に関するお問合せ | MEG関西版編集室 TEL.06-6484-9711 (クエストルーム株式会社) 〒530-0047 大阪市北区西天満2-8-1 大江ビルディング507 http://www.meg-net.com

ARTな散歩道

Vol.25 今井祝雄、こんな凄い美術家が関西にいたとは

大阪を拠点に活動するベテラン美術家、今井祝雄の活動を振り返る大規模展が、芦屋市立美術館で開催されています。

1946年に大阪で生まれた今井は、大阪市立工芸高等学校在学中の1964年、17歳の時に「第14回具体美術展」へ初出品し、翌年には最年少作家として具体美術協会の会員になった。10代で一人前の美術家として認められたのだから、神童と言って差し支えないだろう。

1966年には「第10回シュルレアリスム展」で一等賞を獲得、同年7月に具体美術協会の拠点クワイビナコテカで個展を開催する一方、「第1回草月美術展(草月会館ホール、1967年)」「現代の空間」(8-光と環境) (そごう神戸、1968年)では映像や光による作品を発表している。

1970年の大阪万博、鉄鋼館ではレーザー光線を用いた演出が新しい芸術表現として用いられていたが、当時の今井の取り組みがそれに負けず劣らず先端的だったことが分かるだろう。やはりこの人はただ者ではない。

1970年代以降、今井の作品は、写真、映像、音などのメディアを用いたものが主となる。そこで示されているのは、「空間」「時間」「現象」「存在」に対する独自の考察だ。また、自分の心臓の鼓動を録音し、ビルの屋上からスピーカーで流すなど、街路を舞台にした作品発表や、公共空間に作品を設置する活動も積極的に行っている。

テレビ番組を録音したビデオテープ、音楽を録音したカセットテープを用いた作品は、デジタル時代の今となってはレトロだが、時間や音の視覚化という面では1970~80年代の文化状況を反映した表現と言える。また、自分の顔を毎日1979年から現在まで撮り続けており、彼の人生を通して続けられる文字通りのライフワークだ。

◎9月14日(土)~11月7日(日) 「今井祝雄 長い未来をひきつれて」

■会場 芦屋市立美術館
■時間 10:00~17:00 ※入場は16:30まで
■料金 全席指定 ¥9,800 大正 ¥500 中学生以下無料
■11月9日(土)・10日(日)は無料観覧日(入場は無料)

■お問い合わせ / TEL:0797-98-5432 ashya-museum.jp

京の師走を彩る“歌舞伎の祭典”今年も開催決定！

【主催・製作】松竹株式会社

【後援】京都府・京都市・京都商工会議所
(公社)京都市観光協会

130年
松竹創業百三十周年

令和6年

12月1日(日)初日~22日(日)千穉楽

(10日(火)・16日(月)は休演日)

京の年中行事

當も言例顔見世興行 東亞合同 大歌舞伎



<p>第四 越後獅子</p> <p>同同角 兵衛獅子</p> <p>鷹萬 之太 資郎</p>	<p>第三 曾我五郎</p> <p>河竹黙阿弥 監修 御所五郎蔵</p> <p>孝老 巳半 太郎 助</p>	<p>第二 色彩間豆</p> <p>仙石屋敷</p> <p>清元連中</p>	<p>第一 元禄忠臣蔵</p> <p>真山美保 演出 仙石屋敷</p> <p>梅進 亀 隼 中 鷹 左衛門 之 治 仁 車 助</p>	<p>第四 ぢいさんばあさん</p> <p>伊下 宮久 宮美 織 甚 右衛門 門 弥 久 織</p> <p>扇 巳 虎 老 萬 中 之 之 太 太 雀 助 介 郎 車</p>	<p>第三 大津絵道成寺</p> <p>河竹黙阿弥 原作 藤原 振付</p> <p>愛之助 五変化</p> <p>長崎 津 連 中</p>	<p>第二 三人吉三白浪</p> <p>河竹黙阿弥 作 大川端庚申塚の場</p> <p>錦 隼 孝 之 太 助 人 郎</p>	<p>第一 蝶々夫人</p> <p>石川 耕 土 脚本・演出 新歌舞伎</p> <p>鷹 錦 老 治 之 太 郎 助 郎</p>	<p>◆昼の部(午後七時三十分開演)</p>
--	--	--	---	---	---	---	--	------------------------



熟練の俳優陣と次代の花形が顔を揃える、歌舞伎の醍醐味を凝縮した師走の風物詩！

ひととき夢の空間をお楽しみいただく「吉例顔見世興行」をお見逃しなく！



越後獅子
幕引きは「越後獅子」。

夜の部は片岡仁左衛門、中村梅玉の「仙石屋敷」。



ぢいさんばあさん
中車の伊織、中村扇雀の妻の心温まる愛情物語をご覧ください。

蝶々夫人は新作歌舞伎「蝶々夫人」。三太やとも呼ばれるブッチーの「蝶々夫人」を、中村老太郎のお蝶で上演します。

古来より伝統を受け継ぐ歌舞伎の祭典「吉例顔見世興行」。歌舞伎の魅力が随所に織り込んだ珠玉の演目をご堪能いただけます。

京都南座
〒605-0075 京都市東山区四條大橋東詰
TEL.075 (561) 1155

松竹ホームページ <https://www.shochiku.co.jp>
歌舞伎公式サイト「歌舞伎美人」 <https://www.kabuki-bit.jp>

11月9日(土) 午前10時より 電話予約・Web受付開始

電話 チケットホン松竹 受付時間/午前10時~午後5時
☎0570-000-489 または ☎06-6530-0333

Web チケットWeb松竹 チケットWeb松竹 検索
パソコン・スマートフォンより24時間受付
(11月9日(土)の発売開始日は午前10時より受付開始)
チケットWeb松竹のお問い合わせは ☎03-3545-2200 (午前10時~午後5時)

前売券取扱所 南座・大阪松竹座・歌舞伎座・新橋演舞場
チケットぴあ Pコード:529-057 w.pia.jp/t/minamiza/ イープラス eplus.jp/minamiza/ ローソンチケット Lコード:54891 l-tike.com/minamiza

【お願い】お買い上げになりましたチケットは、興行中止をのぞいて、ご変更やお取消しはいたしておりません。また、転売目的でのチケットの購入は固くお断りいたします。

〈ご観劇料〉(税込)

1等席	25,000円
2等席A	12,000円
2等席B	10,000円
3等席	8,000円
4等席	6,000円
特別席	27,000円